



監視用

PoE レコーダー

型式 TSD-POE4200

取扱説明書



目次

1.特徴	1
2.セット内容	1
3.安全上のご注意	2
4.使用上のご注意	4
5.内蔵ハードディスクについて	5
6.各部の名称	6
7.接続例	7
8.システムの起動とシャットダウン	8
9.操作方法とメニュー画面の設定	9
ライブ画面	9
クイックメニュー	10
メニュー画面	12
<デバイス>	13
<コントロール>	17
<ネットワーク>	29
<録画機能>	33
<アラーム>	36
基本操作	42
10.遠隔監視	47
11.録画時間の目安	54
12.寸法図	54
13.製品仕様	55
14.トラブルシューティング	56
15.修理について	56

※予告なしにデザイン等が変更になる場合があります。

予め、ご了承ください。

この度は弊社製品をご購入頂き
誠に有難うございます。

- ご使用の前に、こちらの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、「取扱説明書」は大切に保管し、必要なときにお読みください。

1. 特 徴

- PoE カメラ 4 台までの録画が可能なワンケーブルハードディスクレコーダー
- LAN ケーブル 1 本で電力と映像信号を送受信するので、カメラ側に電源が不要
- 2TB のハードディスクを標準搭載で長時間の録画が可能(最大 4TB まで対応)
- 録画フレーム数をカメラ 1 台あたり、1~18 フレーム/秒に設定可能
- 6 段階の録画画質設定
- P2P ネットワーク接続により、簡単な設定で遠隔監視が可能(スマートフォン使用)
- モーション録画機能搭載で、画面に動きがあったときだけの録画が可能
- 連続録画/スケジュール録画/モーション録画に対応
- 画面 4 分割機能
- 画面ループ機能(オートシーケンス)
- カメラタイトル表示機能
- パソコン感覚で、マウスを使って簡単操作

※PoE カメラは、「TSD-RU200POE」または「TSD-RV200POE」をご使用ください。

※LAN ケーブルは、カテゴリ5e 以上のものをご使用ください。(最大 100m)

2. セット内容

ご使用前にセット内容を確認してください。

■レコーダー本体■



■ACアダプター■



■HDMIケーブル■



■マウス■






3.安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
 - ご使用者様や周囲の方への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを以下のように区分けして説明しています。これらは安全にご使用いただく上で重要です。
- 以下の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分けして説明しています。

 警告	死亡または重傷を負う おそれがある内容	 注意	障害を負うおそれや、物的損害の発生のおそれがある内容
---	------------------------	---	----------------------------



お守り頂く内容の種類を絵表示で区分けして説明しています。

 (禁止)	してはいけない 内容	 (必ず守る)	必ず行って頂く 内容	 (注意)	注意しなければならない内容
---	---------------	---	---------------	---	---------------



警告



- 煙が出る、変な臭いや音がする、高温になるなどの異常を感じた時は、必ずACアダプターをコンセントから抜き電源を切ってください。
- 機器内部に水や異物が入った場合には、必ずACアダプターをコンセントから抜き電源を切ってください。感電やケガのおそれがあります。
- 機器を落としたりするなどの強い衝撃を与えた場合、必ずACアダプターをコンセントから抜き電源を切ってください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- 分解したり、改造は絶対に行わないでください。発火したり、異常動作をするおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグに触らないでください。感電するおそれがあります。
- ACアダプターは、コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 埃や湿気の多い場所、風通しの悪い場所への設置はしないでください。感電や故障の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、加熱したりしないでください。また、重いものを載せたり挟み込んだりしないでください。火災や感電のおそれがあります。
- 電源には、必ず付属のACアダプターを使用してください。他の機器のACアダプターは絶対に使用しないでください。故障や火災の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、ACアダプターに触らないでください。感電のおそれがあります。

 (注意)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 機器内部に水や異物を入れないでください。万が一、水が掛かったり、異物が入った場合には、直ぐにコンセントを抜き、電源を切ってください。そのまま使用を続けると火災や感電の原因になります。 ■ 機器の上に薬品、水などが入った容器や重いものなどを載せないでください。落下による火災や感電の原因となります。 ■ 雨が降り掛かる場所や、水に濡れそうな場所に設置しないでください。火災や感電の原因になります。 ■ 配線工事は安全・確実に行ってください。誤った配線工事は、火災・感電・事故の原因となります。 ■ ACアダプターは、コンセント、機器本体にしっかりと差し込んでください。接触不良が発生したり、隙間に埃がたまり火災の原因となります。ACアダプターは、定期的に取り外して掃除してください。
 (必ず守る)	<ul style="list-style-type: none"> ■ ACアダプターをコンセントから抜く時は、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。感電・ショート・発火のおそれがあります。

注意

 (注意)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 直射日光のあたる場所やヒーターなどの熱源のある場所には設置しないでください。機器内部の温度が上昇すると、火災や故障の原因となります。 ■ 振動のない平らな場所に設置してください。 ■ 落雷の発生が予想される場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。故障の原因となる場合があります。 ■ 製品の表面は、乾いた布で軽く拭いてください。化学薬品や洗剤などは、表面を変質させる場合がありますので、絶対に使用しないでください。 ■ 発熱する他の機器と重ねて設置しないでください。 ■ 可燃性のスプレーなどを近くに置かないでください。 ■ 機器を落下させたり、衝撃を与えないでください。 ■ モーター類などを搭載した機器とは、電源を別系統にして配線してください。また、できるだけ近くには設置しないでください。ノイズなどの影響を受け、録画データや動作に異常が発生する場合があります。
 (必ず守る)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急時以外で電源を切る時は、画面の「シャットダウン」操作を行ってから電源スイッチをオフにしてください。シャットダウン操作をしないと、機器に負担が掛かり、誤動作や録画データ損傷の原因となります。

4.使用上のご注意

- 本機の入力規格を超えた電圧や電流は絶対に入力しないでください。
- 正しい接続を行ってください。接続を間違えますと機器にダメージを与えることがあります。
- 電源の変動や電源ノイズの多い環境、強い電磁波がある環境では、機器の誤動作が発生する危険性がありますので、設置場所を変更するか、必要なノイズ対策（ノイズフィルターや電磁波シールド等）を行ってください。
- 本機の上にモニターなど、重いものを置いて使用しないでください。誤動作の原因になります。
- 本機は湿気を嫌います。本体上面に水気のあるものなどは置かないようにご注意ください。
- 本機はファンレスタイプです。室温が 40℃以上になる場所での連続使用は絶対にお止めください。機器の設置は極力温度の安定した、粉塵やガスの発生の無い場所に設置してください。また、周囲に発熱するものがある場合は、少し離して機器の上には物を置かないようお願いいたします。機器の温度が上がり、機器の故障や寿命を短くする原因となります。
- 化学薬品や洗剤を使用した清掃は機器を痛める場合があります。
- 不当な修理や改造は絶対にお止めください。発熱・発火・感電・けがなどの原因となります。
- 電源を遮断するときは、必ずメニュー画面の「システム終了」操作を行ってください。
（録画データやシステムデータが破損し、異常が発生するおそれがあります。）
- ノイズ障害やその他の原因（不適切な電源オフ操作等）によりハードディスクのデータが破損して録画・再生において動作しなかったり、途中で止まったりなどの異常が生じる場合があります。この様な場合はハードディスクのフォーマットを行ってください。フォーマットをするとディスク内の全ての録画データが消去されますので、必要な場合は、事前に録画データのバックアップを行ってください。
- 電源の頻繁な入り切りは、ハードディスクの寿命を短くしたり、データ破損の原因にもなりますので、ご注意ください。
- 本機に設定した「パスワード」は、記録・保管し、忘れることが無いようにお願いします。忘れてしまった場合は、パスワードが設定されていると、一切の操作ができません。
パスワードの解除は、修理対応となる場合がありますので、ご注意ください。
- ネットワーク接続する場合は、他の用途の LAN とは分けて単独とし、回線速度が速く、トラフィック（情報交通量）の少ない、安定した環境でご使用ください。

5.内蔵ハードディスク(HDD)について

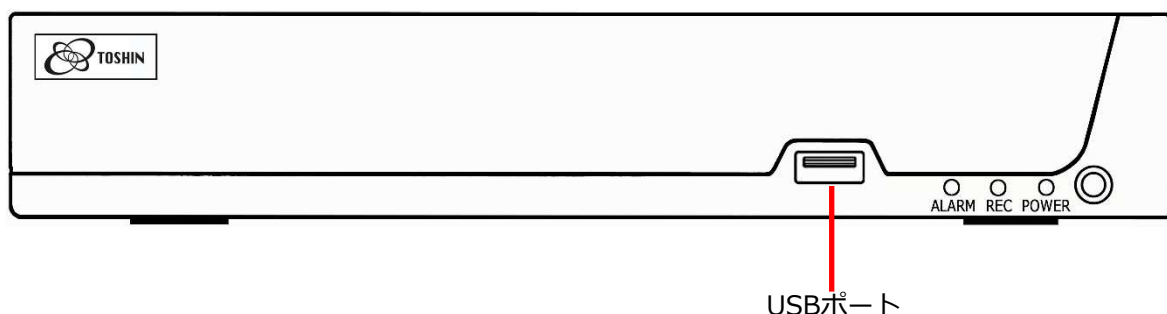
本機は、精密機器であるハードディスクを搭載しています。

録画データの消失や誤作動などを起こさないように以下の点に注意してください。

- ・ 振動や衝撃を与えないでください。持ち運びの際もご注意ください。
- ・ 動作中に電源プラグを抜かないでください。電源を切る場合は、必ずシステム終了の操作を行ってください。
- ・ 電源を入れたまま移動させないでください。
- ・ 強い磁気を持っているもの、強い電磁波を出すものを近づけないでください。録画データが損なわれることがあります。
- ・ 電氣的ノイズなどの影響によりハードディスクが正常に作動しない場合があります。
- ・ 停電などで、システム終了の操作をせずに電源が切れた場合は、ハードディスクのトラブルを避けるため、ハードディスクをフォーマットすることをお勧めします。
- ・ 極端に高温の場所での使用は絶対に避けてください。
- ・ 風通しが良い場所に設置してください。
- ・ 埃や湿気の多い場所には設置しないでください。
- ・ 内蔵のハードディスクには絶対に手を触れないでください。何らかの原因でハードディスクが故障した場合でも、ご自分で交換することはできません。お買い上げの販売店までご連絡ください。尚、点検・修理の際に録画データが消失した場合の内容補償はできません。
- ・ ハードディスクは消耗劣化する部品です。本機を毎日 24 時間連続でご使用になる場合は、3 年前後でハードディスクを交換する事をお勧めします。(3 年は、あくまでも目安ですので、寿命を保証するものではありません。ハードディスクの保証期間は 1 年です。)
- ・ ハードディスクの交換は、お買い求めの販売店へご相談ください。
- ・ 故障早期発見のため、定期的に録画・再生の動作確認をされることをお勧めします。
- ・ 万一の事故や故障に備えて、大切な録画データは定期的にバックアップすることをお勧めします。

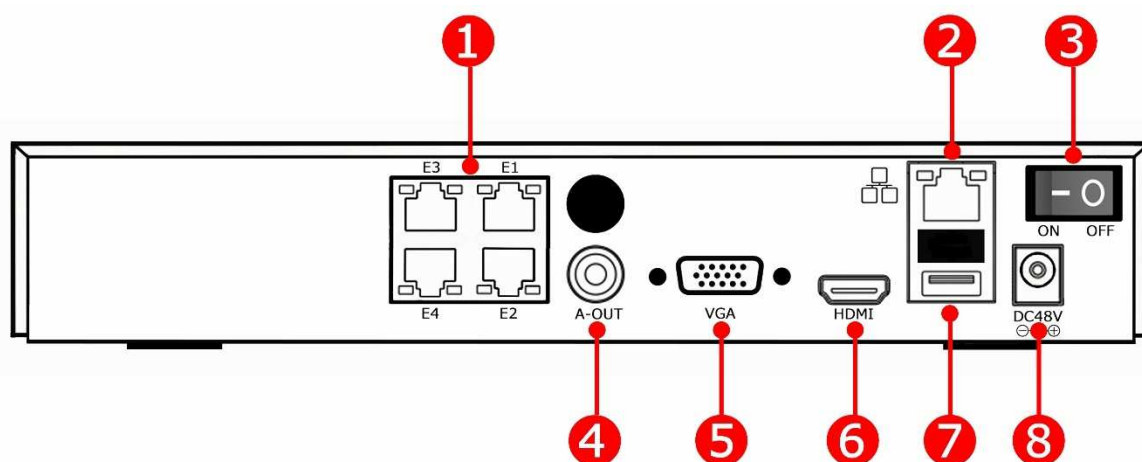
6.各部の名称

◇前面パネル◇



ALARM	録画ランプ(青)：録画動作時に点灯
REC	HDD ランプ(青)：ハードディスク動作時に点灯
POWER	電源ランプ(赤)：電源スイッチ ON で点灯

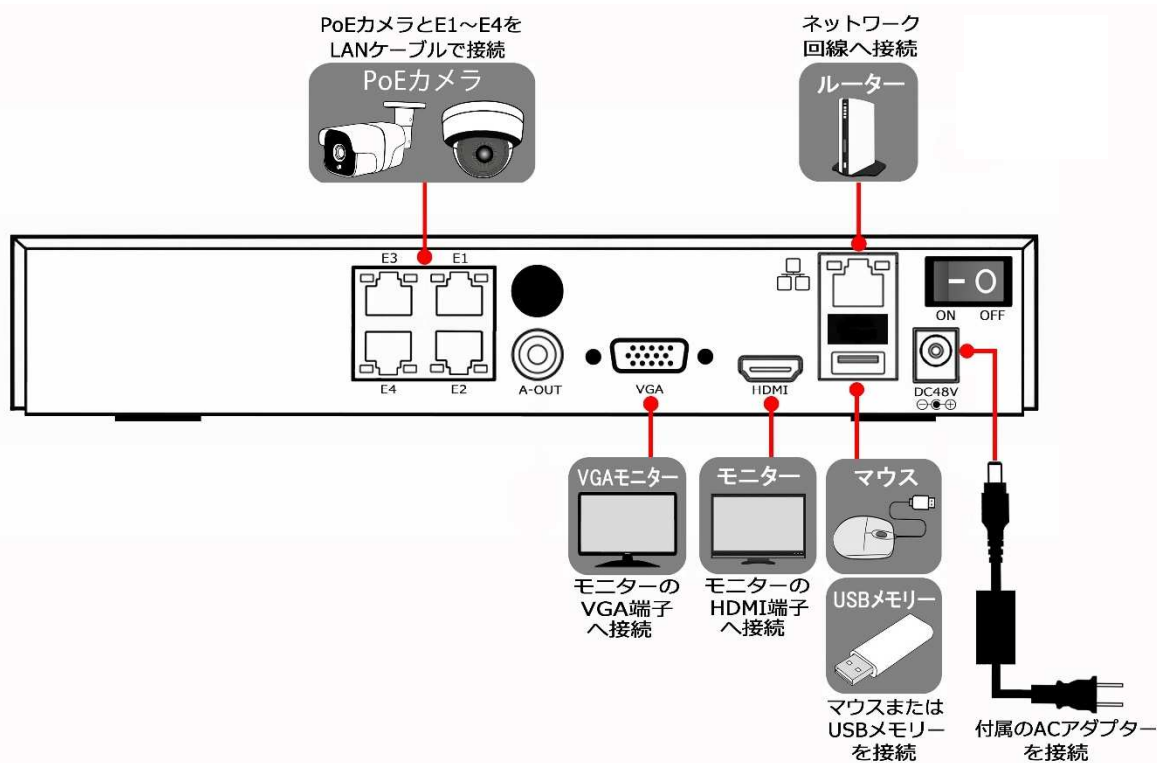
◇背面パネル◇



①PoE カメラ接続端子 (E1～E4)	PoE カメラと LAN ケーブルで接続(RJ45 端子)
②LAN 端子	ネットワーク監視用の LAN ケーブルを接続(RJ45 端子)
③電源スイッチ	電源の ON/OFF スイッチ
④音声出力端子 (A-OUT)	音声出力用 RCA 端子
⑤映像出力端子 (VGA)	モニターの VGA 映像入力端子へ接続
⑥HDMI 出力端子 (HDMI)	モニターの HDMI 入力端子へ付属の HDMI ケーブルで接続
⑦USB ポート	付属のマウスまたは USB メモリーを接続
⑧電源入力端子 (DC48V)	付属の AC アダプターを接続

7.接続例

接続の前に全ての機器の電源を切ってください。



全ての機器を接続後に電源スイッチを「ON」にしてください。

<PoE カメラの接続について>

PoEカメラの配線には、両端RJ45端子のLANケーブルをご使用ください。(カテゴリー5e以上推奨)



電源スイッチを「ON」にすると、PoEカメラに電源が供給されます。

ログイン後にPoEカメラの映像がモニターに表示されます。

※PoEカメラは、TSD-RU200POEまたは、TSD-RV200POEをご使用ください。

(TSD-RU200POEとTSD-RV200POEには、20mのLANケーブルが付属しています。)

※カメラに付属のLANケーブルは、防水仕様ではありません。雨が降り掛からないように配線してください。

※LANケーブルの配線距離は、最大100mまでとしてください。

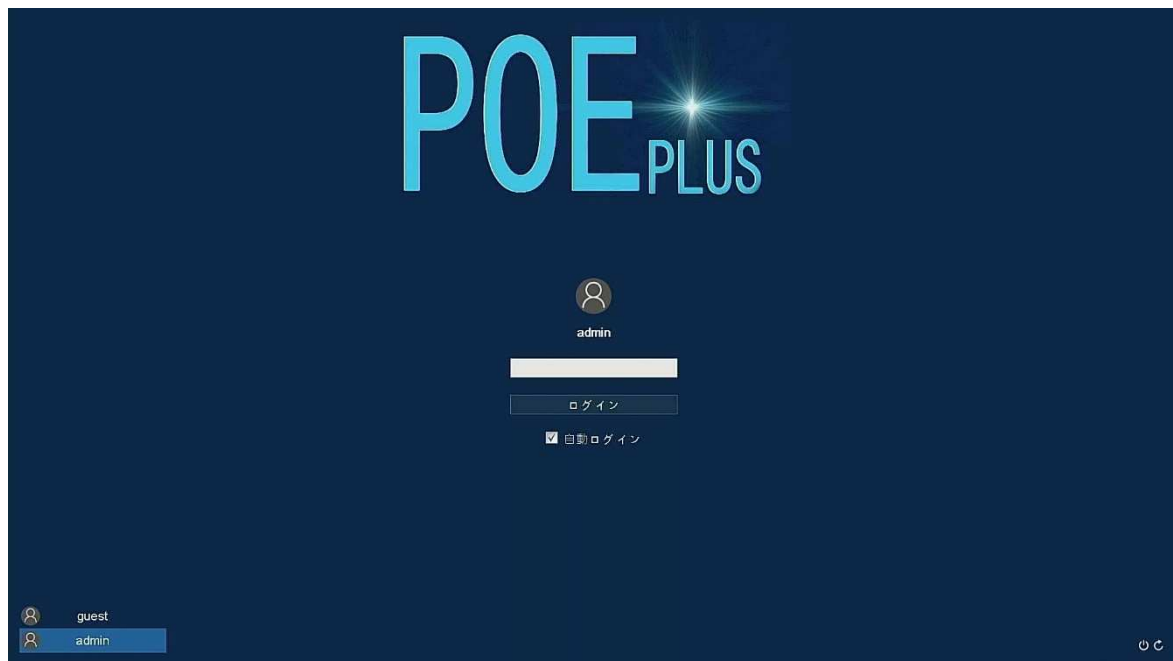
<モニターの接続について>

工場出荷時の画面解像度の出力設定は、1280×720 です。ご使用になるモニターの仕様を確認して頂き、モニターの解像度に応じた画面解像度の出力設定に変更してください。(20 ページ参照)

8.システムの起動とシャットダウン

◇システムの起動◇

電源スイッチを「ON」にすると“ピッ”という音が聞こえ、電源ランプが点灯してログイン画面が表示されます。



空欄に設定しているパスワードを入力して「ログイン」をクリックしてください。
カメラの映像が、4分割画面モードで表示されます。

※初期設定のユーザー名とパスワードは、下記の通りです。

ユーザー名：admin

パスワード：設定なし(空欄のままログイン)

◇システムのシャットダウン◇

システムのシャットダウンは、【クイックメニュー：ログアウト】>【シャットダウン】または【マウス右クリック：ログアウト】>【シャットダウン】にて、シャットダウンの操作を必ず行ってから電源スイッチを「OFF」にしてください。

シャットダウン操作をせずに電源を切った場合は、録画中のデータが消失する場合があります。
また、ハードディスクのトラブルの原因となる場合がありますので、ご注意ください。

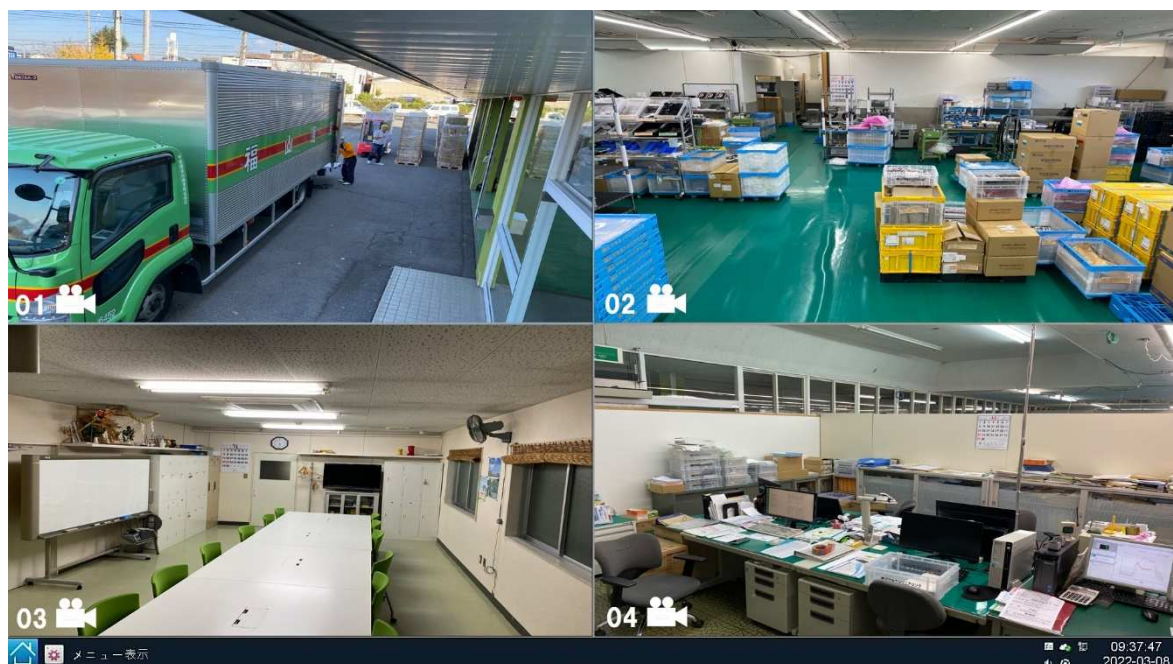
◇停電時の回復機能◇

録画中に停電などで再起動をした場合は、自動的に停電前の状態に復旧し、録画を開始します。
但し、シャットダウン操作をせずに電源を切ったこととなりますので、ハードディスクのトラブルを避けるため、ハードディスクをフォーマットすることをお勧めします。(24ページ参照)

9.操作方法とメニュー画面の設定

◇ライブ画面◇

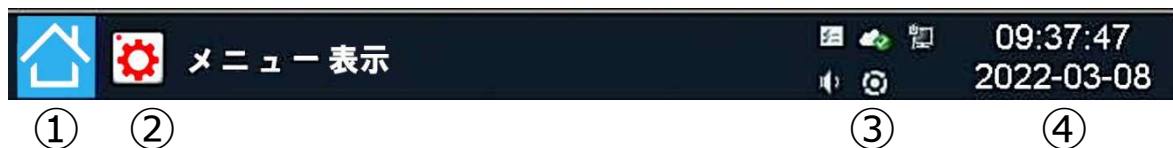
ログイン後にカメラ4台の映像が4分割画面モードで表示されます。



各チャンネルの左下にアイコンが表示され、動作中の状況をお知らせします。

	録画中
	モーション検出あり

画面下のステータスバーのアイコンをクリックすることにより、各種設定画面を表示します。




①	クイックメニューを表示
②	メニュー画面とライブ画面の切り替え
③	チャンネルプレビューモード/遠隔監視/ネットワーク/ループ表示設定画面を表示
④	現在の時刻・日付/時刻設定画面を表示

1つのチャンネルだけを表示させる場合は、画面上をダブルクリックします。

4分割画面に戻る場合は、画面上を再度ダブルクリックします。

◇クイックメニュー◇

画面左下の  アイコンをクリックすると、クイックメニューが表示されます。



録画モード	録画モード画面を表示
チャンネルプレビュー	チャンネルプレビューモード画面を表示
ハードディスク	ハードディスク画面を表示
表示調整	表示調整画面を表示
PTZ 設定	※本機では使用しない機能です。
初期化	初期化画面を表示
アップグレード	アップグレード画面を表示
メンテナンス	メンテナンス設定画面を表示
設定入出力	設定入出力画面を表示
ログ情報	ログ情報検索画面を表示
データ転送速度	データ転送速情報示画面を表示
STVI	※本機では使用しない機能です。
バージョン	バージョン情報画面を表示
コントロール	コントロール設定画面を表示
遠隔監視	遠隔監視情報設定画面を表示
ログアウト	ログアウト/シャットダウン/再起動

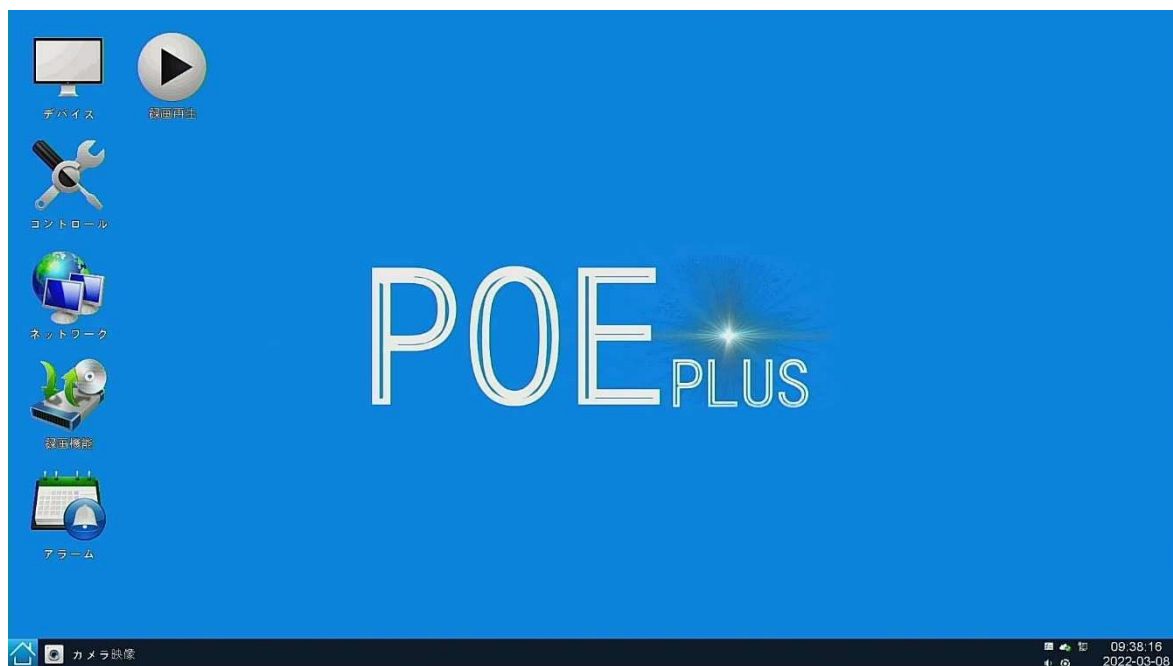
スケジュール	録画スケジュール設定画面を表示
録画再生	録画再生画面を表示
ネットワーク	ネットワーク設定画面を表示
録画画質	録画条件設定画面を表示
画面設定	モニター設定画面を表示
バックアップ	バックアップ画面を表示
アラーム	アラーム設定画面を表示
基本設定	基本設定画面を表示
チャンネル	チャンネル設定画面を表示
外部機器	外部機器設定画面を表示
メール設定	ネットワーク設定の各画面を表示

◇メニュー画面◇

ご使用になる前にモニターに表示されるメニュー画面で各種の設定をする必要があります。

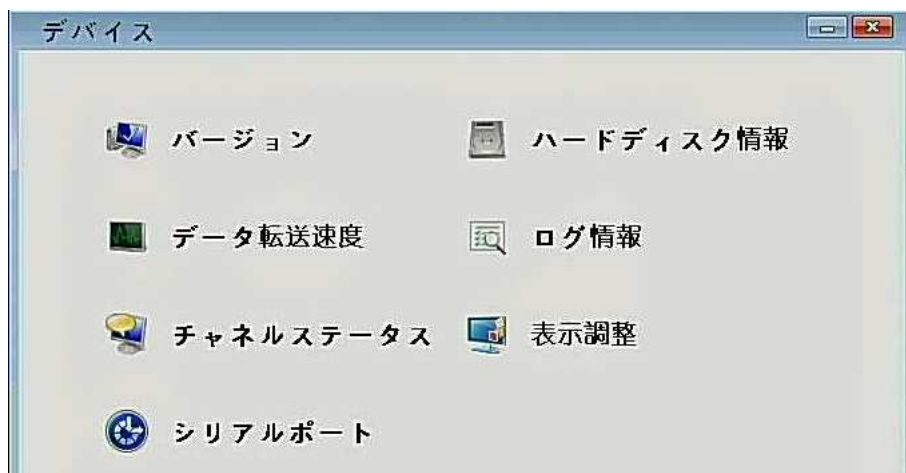
正確な設定を行うことにより、目的の録画が可能となります。

画面上のアイコンをダブルクリックすると、各項目の設定画面が表示されます。



デバイス (デバイス設定と情報表示)	バージョン/ハードディスク情報/データ転送速度/ログ情報 チャンネルステータス/表示調整/シリアルポート
コントロール (各機能の設定)	時刻設定/基本設定/録画画質/画面設定/ビデオオーバーレイ/画像設定 ハードディスク/PTZ 設定/ループ表示/アカウント/メンテナンス 初期化/アップグレード/設定入出力
ネットワーク (遠隔監視設定)	ネットワーク/PPPoE/Email 設定/DDNS/FTP 設定/UPNP/WiFi/3G4G RTSP/IP 権限設定/CloudStorage
録画機能 (録画に関する設定)	録画モード/スケジュール/RecEstinfo/バックアップ
アラーム (アラームに関する設定)	モーション設定/映像遮蔽/信号ロス/異常表示/AI 分析/AI アラーム
録画再生	録画再生画面を表示

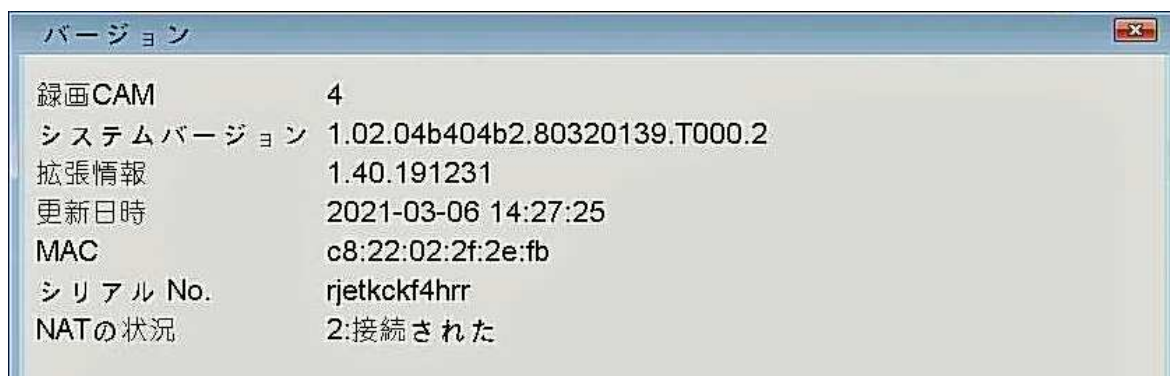
<デバイス>



バージョン	本機のバージョン情報を確認表示
ハードディスク情報	内蔵ハードディスクの総容量・空き容量・状態を表示
データ転送速度	各チャンネルのデータ転送速度を表示
ログ情報	ログ情報を表示
チャンネルステータス	各カメラの接続状況を表示
表示調整	モニターの画面に表示される映像の調整
シリアルポート	※使用しない機能

1.バージョン

本機のバージョン情報を確認表示しています。



2.ハードディスク情報

内蔵ハードディスクの総容量・空き容量・状態を表示しています。



	保存方式	総容量	空き容量	状態
全	-	1.81 TB	1.09 TB	-
1-1*	HDD	1.81 TB	1.09 TB	正常

画面右下の「録画時間」をクリックすると、画面が切り替わり、録画開始した日時と録画を終了した日時が表示されます。



	開始時間	終了時間
全	2022-02-08 17:40:18	2022-03-08 09:40:40
1-1*	2022-02-08 17:40:18	2022-03-08 09:40:40

画面を戻す場合は、画面右下の「容量の表示」をクリックします。

3.データ転送速度

各チャンネルのデータ転送速度を表示しています。



CAM	Kb/s	MB/h
1	1536	538
2	1898	661
3	18	5
4	16	6

4.ログ情報

「開始時間」と「終了時間」を入力して「検索」をクリックすると、入力した時間内のログが表示されます。

11	発生時間	録画モード
1	2022-03-08 01:00:02	シャットダウン
2	2022-03-08 01:00:36	再起動
3	2022-03-08 01:00:36	ユーザーログイン
4	2022-03-08 03:30:45	時間を設定し
5	2022-03-08 09:34:52	ユーザーログアウト
6	2022-03-08 09:34:52	ユーザーログイン
7	2022-03-08 09:35:02	シャットダウン
8	2022-03-08 09:35:37	再起動
9	2022-03-08 09:35:37	ユーザーログイン

※「ストレージ」「アラームイベント」は、ログの検索ができません。

「全削除」をクリックすると、全てのログが削除されます。

5.チャンネルステータス

各カメラの接続状況を表示しています。

チャンネルステータス				
CAM	最大解像度	現在の解像度	フレーム/秒(FPS)	接続ステータス
CAM01	5M	1080P	30	接続済
CAM02	5M	1080P	30	接続済
CAM03	5M	未知	未知	接続されていません
CAM04	5M	未知	未知	接続されていません

6.表示調整

モニターの画面に表示される映像の調整を行います。



ディスプレイの設定	※設定の変更はできません。
輝度	モニターに出力される映像の輝度を 0～100 より調整
コントラスト	モニターに出力される映像のコントラストを 0～100 より調整
彩度	モニターに出力される映像の彩度を 0～100 より調整
色合い	モニターに出力される映像の色合いを 0～100 より調整

「OK」をクリックすると、調整した内容が保存されます。

「デフォルト」をクリックすると、調整した内容が初期化されます。

7.シリアルポート

※使用しない機能です。



<コントロール>



時刻設定	時刻についての設定
基本設定	本機の基本設定
録画画質	録画条件に関する設定
画面設定	モニター画面への出力設定
ビデオオーバーレイ	録画データへの日時とカメラタイトルの表示位置、プライバシーマスキングの設定
画像設定	カメラ毎に画像の色彩を調整
ハードディスク	内蔵ハードディスクの情報を表示
PTZ 設定	PTZ カメラの操作とメニュー設定 ※本機では使用しない機能です。
ループ表示	設定した時間間隔でライブ画面を自動的に切り替えて表示
アカウント	ユーザーアカウント情報の管理
メンテナンス	システムの自動再起動と録画ファイルの自動削除の設定
初期化	設定の初期化(リセット)
アップグレード	ファームウェアの更新
設定入出力	ログ情報の保存とメニュー設定のエクスポート/インポート

1.時刻設定

時刻についての設定を行います。

時刻設定

時刻設定 2022 - 03 - 08 09 : 43 : 23

タイムゾーン [UTC+09:00]大阪、札幌、ソウル

日付表示方式 YYYY MM DD

区切り文字 -

時刻書式 24時間

夏時間 ☐

種類 ☐ 週 ☒ 日付

開始: 2000 - 01 - 01 01 : 01

終了: 2000 - 01 - 01 01 : 01

NTP ☒

サーバーIP time.windows.com

ポート 123

周期更新 10 分

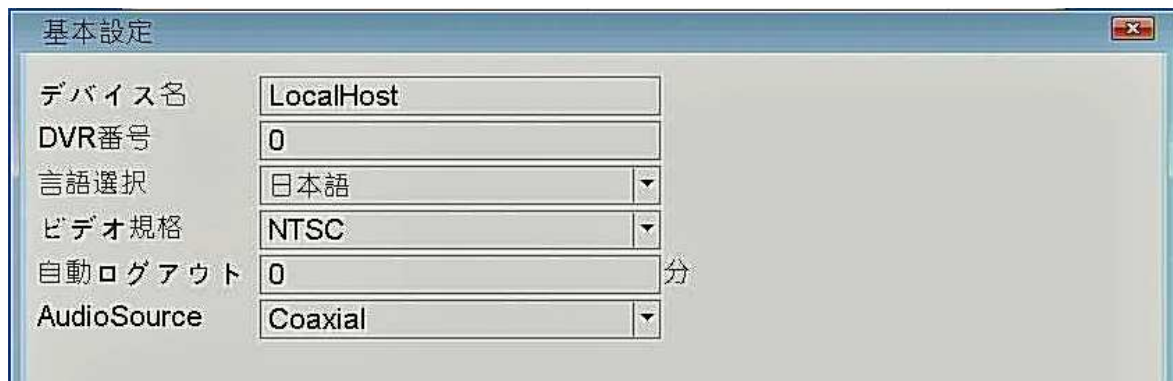
時刻設定	現在の時刻を設定
タイムゾーン	日本では「UTC+09:00」に設定
日付表示方式	日付の表示方式を選択 「YYYY MM DD(年月日)」「MM DD YYYY(月日年)」「DD MM YYYY(日月年)」
区切り文字	文字を区切る記号を設定「.」「-」「/」
時刻書式	時刻の表示を 24 時間表示と 12 時間表示より選択
夏時間	夏時間の期間を設定 ※日本では設定の必要はありません。
NTP	時刻補正を NTP サーバーとリンクさせる場合に設定
サーバーIP	時刻補正をリンクさせる NTP サーバーの IP アドレスを選択
ポート	NTP サーバー通信用のポートを設定
周期更新	NTP サーバーとリンクする間隔(分)を設定

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

※NTP サーバーとのリンク設定には、ネットワーク接続が必要です。

2.基本設定

本機の基本設定を行います。



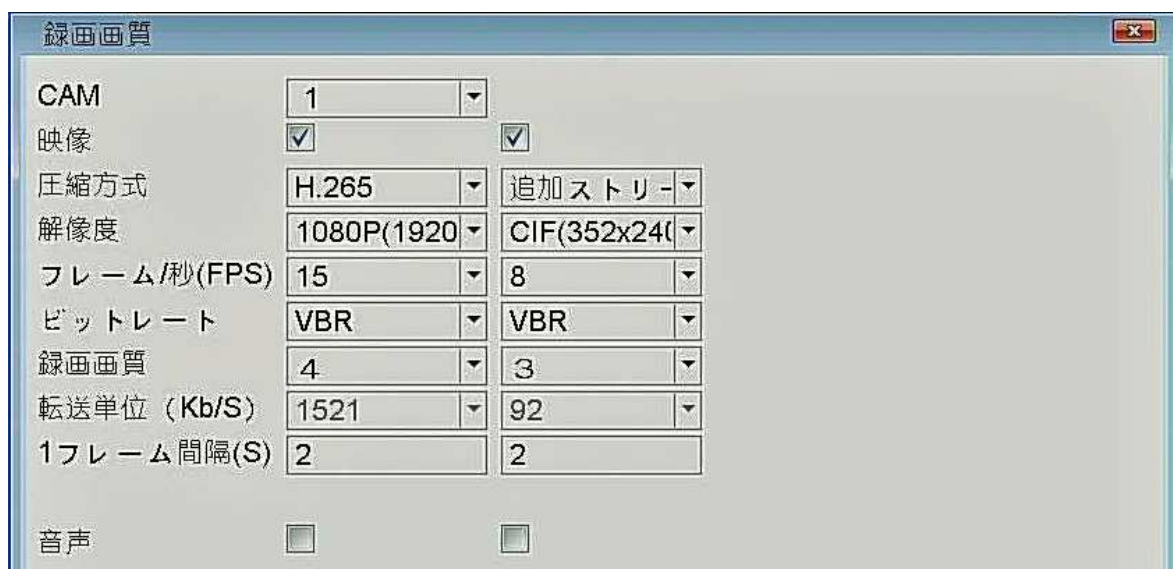
デバイス名	LocalHost
DVR番号	0
言語選択	日本語
ビデオ規格	NTSC
自動ログアウト	0 分
AudioSource	Coaxial

デバイス名	本機のデバイス名を 32 文字以内で設定
DVR 番号	※本機では設定の必要はありません。
言語選択	表示言語を選択
ビデオ規格	ビデオ信号の規格を選択 ※日本では「NTSC」に設定します。
自動ログアウト	無操作状態から自動的にログアウトする時間を 0～60 分より設定
AudioSource	※本機では設定の必要はありません。

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

3.録画画質

録画条件に関する設定を行います。



CAM	1	
映像	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	
圧縮方式	H.265	追加ストリー
解像度	1080P(1920)	CIF(352x240)
フレーム/秒(FPS)	15	8
ビットレート	VBR	VBR
録画画質	4	3
転送単位 (Kb/S)	1521	92
1フレーム間隔(S)	2	2
音声	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	

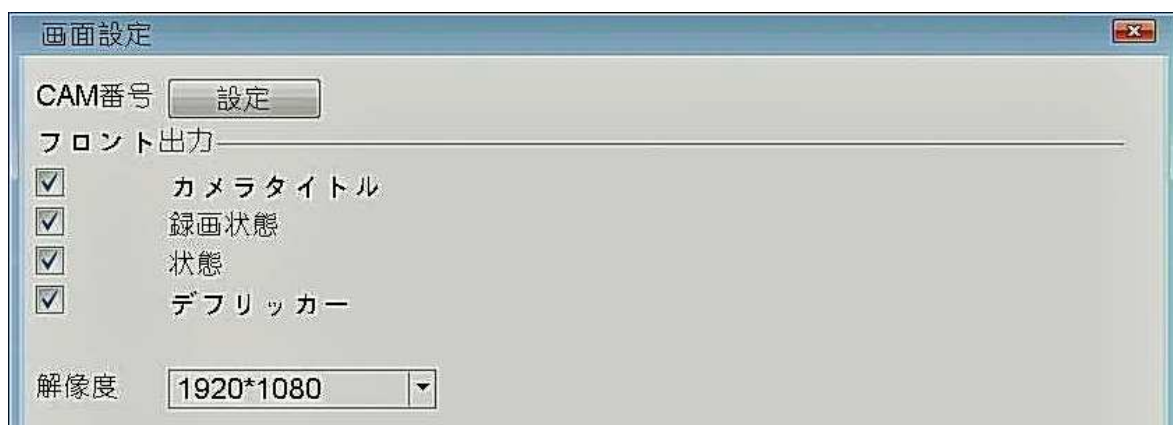
CAM	設定をするカメラのチャンネルまたは、全(一括設定)を選択
映像	映像信号出力の有効/無効を設定
圧縮方式	H.265/H.264：録画の圧縮方式 追加ストリーム：ネットワーク接続時の映像表示の圧縮方式
解像度	録画の解像度を選択 「1080P(1920×1080)」「720P(1280×720)」「960H(928×480)」「H5M(1280×1944)」「H4M(1280×1440)」「H3M(960×1440)」「VGA(640×480)」「D1(704×480)」 追加ストリームの映像表示解像度を選択(ネットワーク接続時) 「D1(704×480)」「CIF(352×240)」
フレーム/秒	録画のフレームレートと追加ストリームのフレームレートを設定 ※解像度 1080P で録画する場合のフレームレートは、最大 18fps です。
ビットレート	VBR(ビットレート変動)と CBR(ビットレート固定)より選択
録画画質	録画の画質と追加ストリームの画質を 6 段階より選択
転送単位	CBR 設定時の固定ビットレートの数値を選択
1 フレーム間隔	映像圧縮に関わるフレーム設定 ※初期値「2」のままご使用ください。
音声	音声信号出力の有効/無効を設定

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

「デフォルト」をクリックすると、設定した内容が初期化されます。

4.画面設定

モニター画面への出力設定を行います。



CAM 番号	「設定」をクリックして、各カメラのタイトルを設定
カメラタイトル	カメラのタイトルをモニター画面に表示
録画状態	録画の状態をモニター画面に表示
状態	アラームの状態をモニター画面に表示
デフリッカー	映像のフリッカー状態を低減
解像度	接続するモニターに合わせて解像度を設定

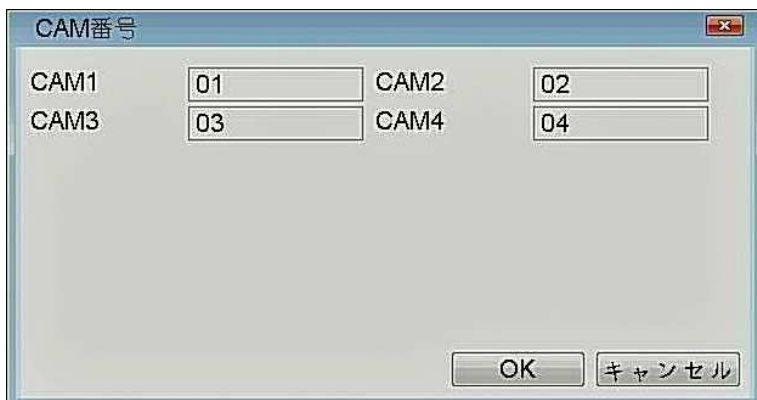
※出力する解像度がモニター側で認識できないと映像が表示されない場合があります。

「解像度」を変更する場合は、モニターの仕様を確認してください。

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

■CAM 番号■

カメラ毎にタイトルを設定します。



CAM番号

CAM1	01	CAM2	02
CAM3	03	CAM4	04

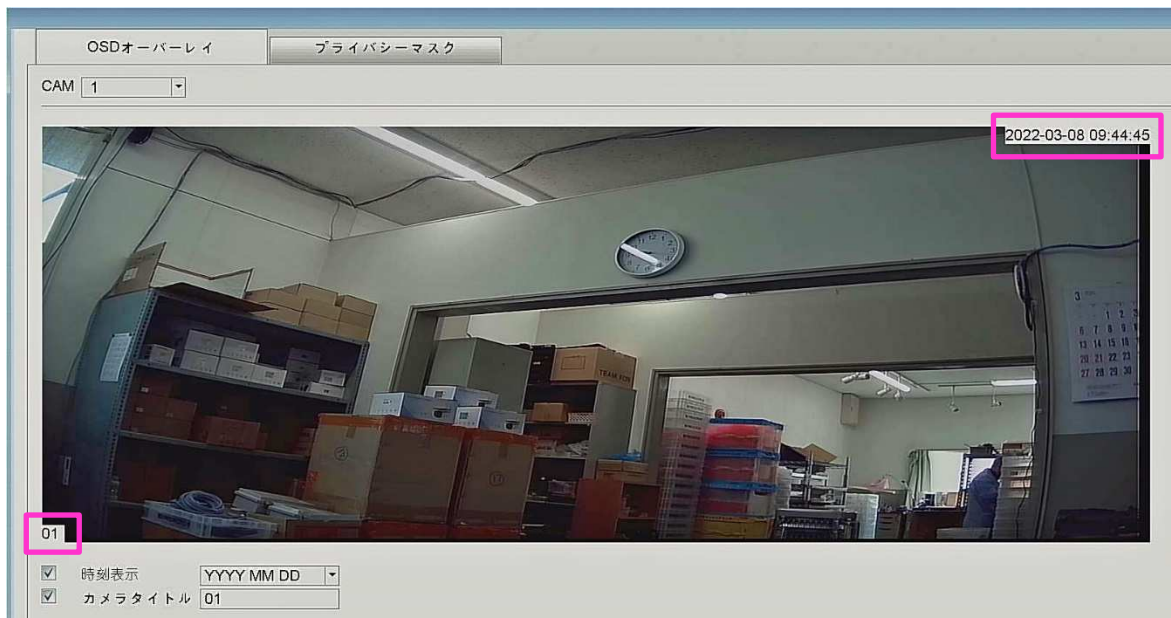
OK キャンセル

5.ビデオオーバーレイ

録画データへの日時とカメラタイトルの表示位置、プライバシーマスクの設定を行います。

■OSD オーバーレイ■

録画データへの日時とカメラタイトルの表示位置を設定します。



OSDオーバーレイ プライバシーマスク

CAM 1

2022-03-08 09:44:45

01

☒ 時刻表示 YYYY.MM.DD

☒ カメラタイトル 01

CAM	設定をするカメラを選択
時刻表示	日付表示の有効/無効と日付の表示方式を選択
カメラタイトル	カメラタイトル表示の有効/無効とカメラタイトルの設定変更

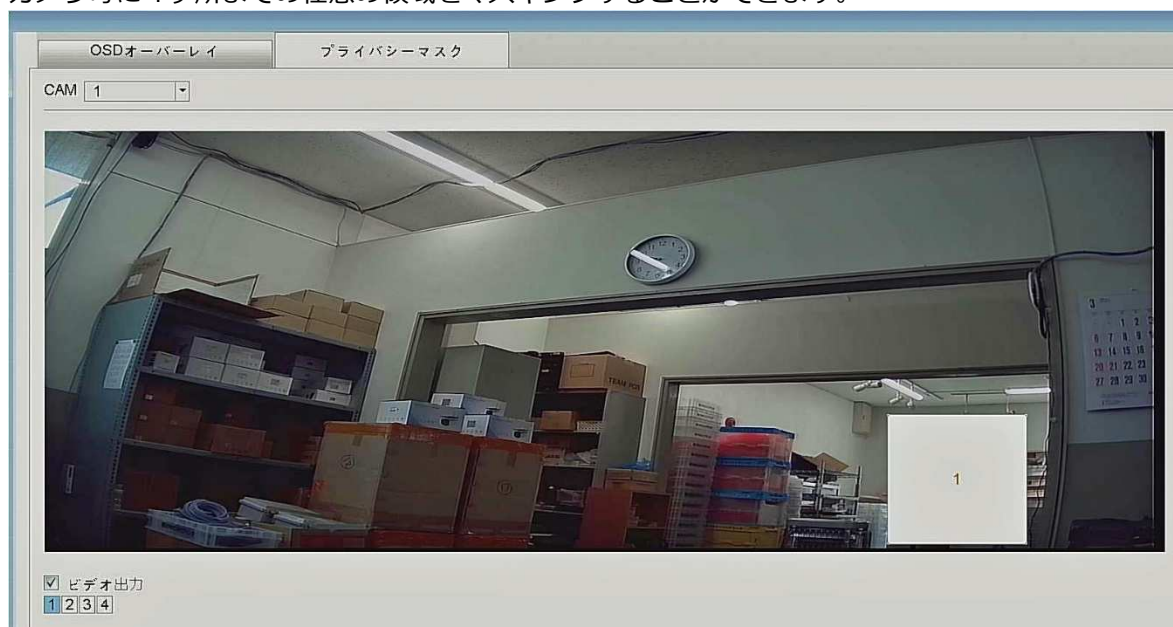
初期設定では、日付は画面右上、カメラタイトルは画面左下に表示されています。
表示位置を変更する場合は、日時表示または、カメラタイトル表示をクリック状態のまま移動させます。

「実行」をクリックすると、移動位置が有効になります。

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

■プライバシーマスク■

カメラ毎に4ヶ所までの任意の領域をマスキングすることができます。



CAM	マスキングを設定するカメラを選択
ビデオ出力	マスキング表示の有効/無効
1～4	任意のマスキング領域 1～4 を表示

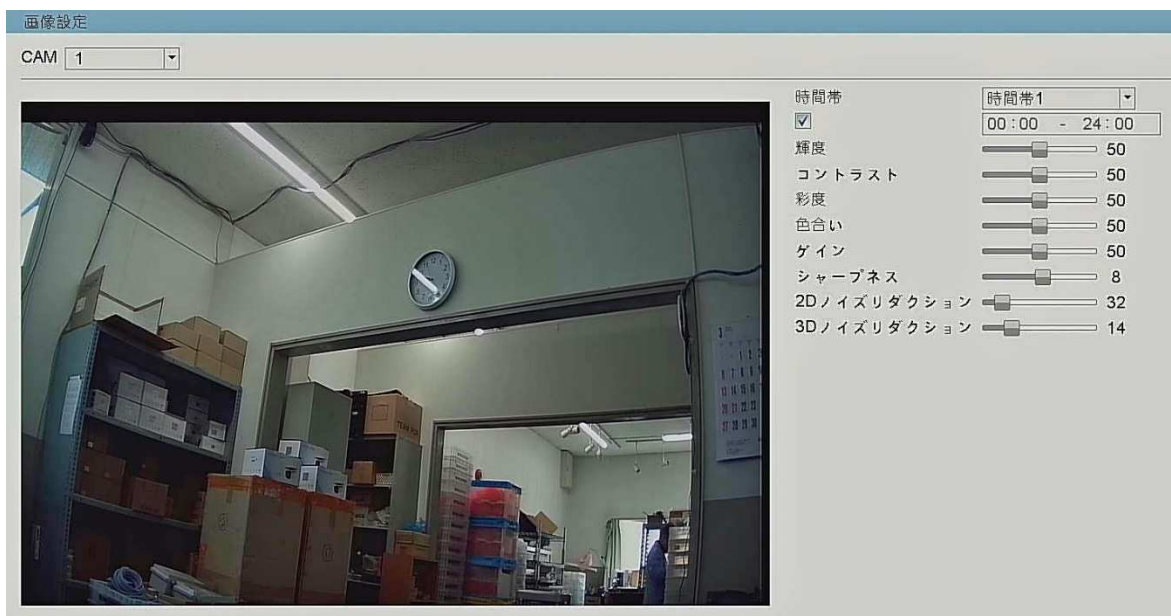
表示されたマスキング領域 1～4 のサイズと位置をマウスで設定します。

「実行」をクリックすると、設定が有効になります。

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

6.画像設定

カメラ毎に画像の色彩を調整します。



CAM	色彩調整を行うカメラを選択
時間帯	特定の時間帯だけ色彩調整を行う場合に設定
輝度	画像の輝度を 0～100 より調整
コントラスト	画像のコントラストを 0～100 より調整
彩度	画像の彩度を 0～100 より調整
色合い	画像の色合いを 0～100 より調整
ゲイン	画像のゲインを 0～100 より調整
シャープネス	画像のシャープネスを 0～15 より調整
2D ノイズリダクション	夜間撮影時のノイズ補正値を 0～255 より調整
3D ノイズリダクション	夜間撮影時のノイズ補正値を 0～63 より調整

「デフォルト」をクリックすると、設定した内容が初期化されます。

「コピー」をクリックして、設定した内容を別のカメラにコピーします。

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

7.ハードディスク

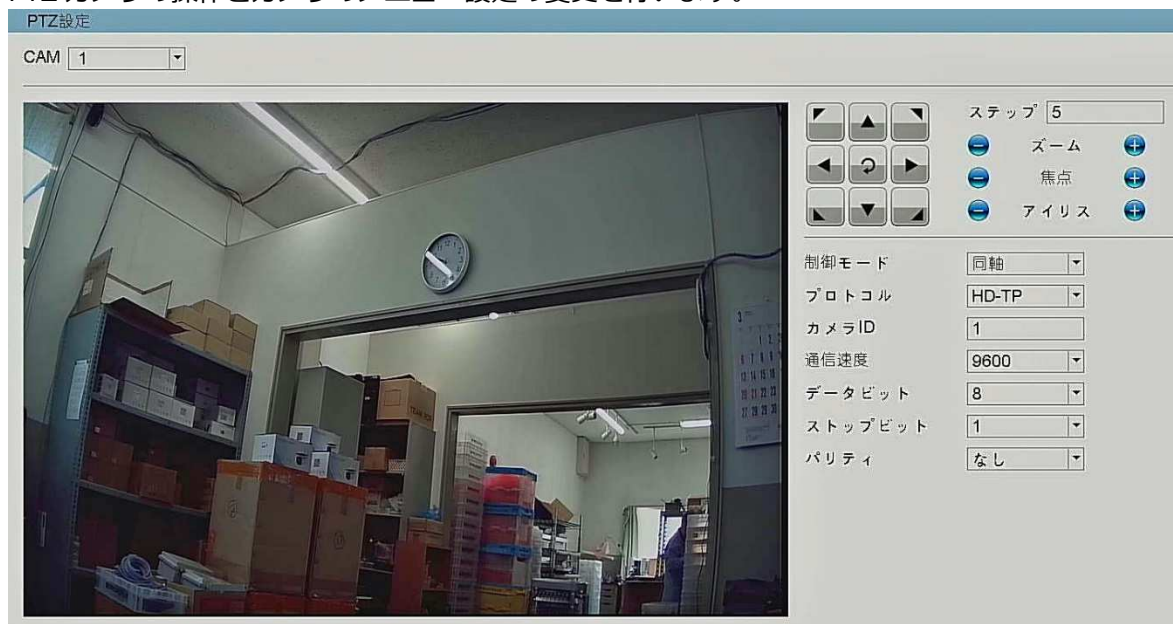
内蔵のハードディスクの情報が自動的に表示されます。



保存可能設定	ハードディスクを録画可能な状態に設定 メッセージ画面が表示されますので「OK」をクリックします。
書き込み禁止	ハードディスクを録画できない状態に設定 メッセージ画面が表示されますので「OK」をクリックします。
冗長化	※本機では設定できません。
フォーマット	ハードディスクを初期化(録画データの全削除) メッセージ画面が表示されますので「OK」をクリックします。
エラー回復	ハードディスクにエラーが発生した場合の修復機能 メッセージ画面が表示されますので「OK」をクリックします。 ※録画データが消失する可能性があります。

8.PTZ 設定

PTZ カメラの操作とカメラのメニュー設定の変更を行います。

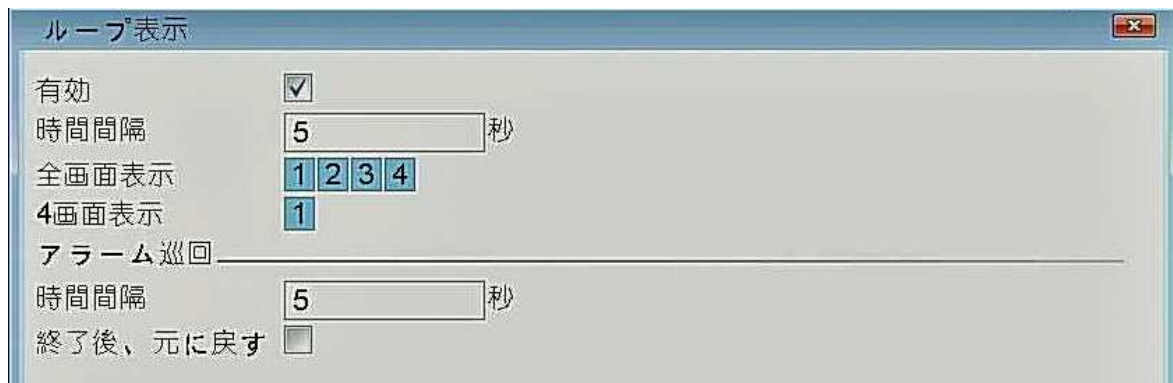


※本機では、使用しない機能です。

※映像が表示されなくなる場合がありますので、カメラのメニュー設定は変更しないでください。

9.ループ表示

設定した時間間隔でライブ画面を自動的に切り替えて表示します。



有効	ループ表示の有効/無効を設定
時間間隔	カメラの画面を切り替える時間の間隔を 5～120 秒より設定
全画面表示	1 画面表示で切り替えを行うチャンネルを選択
4 画面表示	4 分割画面をループ表示させる場合に選択
アラーム巡回時間間隔	アラーム発生時の画面切り替えの時間間隔を 5～120 秒より設定
終了後元に戻す	アラーム発生時の画面切り替え動作終了後にライブ画面に戻る設定

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

10.アカウント

ユーザーアカウント情報についての管理を行います。


	ユーザー名	グループ	状態
1	<input type="checkbox"/> admin	admin	ログイン中
2	<input type="checkbox"/> guest	user	正常
3	<input type="checkbox"/> default	user	デフォルトユーザ

Buttons: ユーザー変更, グループ変更, パスワード変更, ユーザー追加, グループ追加, ユーザー削除, グループ削除, 更新

ユーザー変更	登録されているユーザー情報と権限の設定を変更 ユーザー変更画面が表示されますので、ユーザー名・メモ・グループ・使用権限を設定します。
グループ変更	登録されているグループ情報と権限の設定を変更 グループ変更画面が表示されますので、グループ名・メモ・使用権限を設定します。
パスワード変更	登録されているパスワードを変更 パスワード変更画面が表示されますので、ユーザー名を選択して、現在のパスワードと新しいパスワードを入力します。
ユーザー追加	ユーザーの追加登録 ユーザー追加画面が表示されますので、ユーザー名・パスワード・メモ・グループ・使用権限を登録します。
グループ追加	グループの追加登録 グループ追加画面が表示されますので、グループ名・メモ・使用権限を登録します。
ユーザー削除	登録されているユーザーを削除 アカウント管理画面で削除するユーザーを選択します。 メッセージ画面が表示されますので「OK」をクリックします。
グループ削除	登録されているグループを削除 グループ削除画面が表示されますので、グループを選択して「削除」をクリックします。
更新	各設定項目の更新 設定終了後に全てのアカウント情報を更新します。

11.メンテナンス

システムの自動再起動と録画ファイルの自動削除の設定を行います。



The 'メンテナンス' (Maintenance) dialog box contains two sections. The first section, 'システムの自動起動' (System automatic start), has a dropdown menu set to '火曜日' (Tuesday) and a time field set to '01:00'. The second section, 'ファイルの自動削除' (File automatic deletion), has a dropdown menu set to '設定する' (Set) and a numeric field set to '1' followed by the text '日以前' (days before). At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

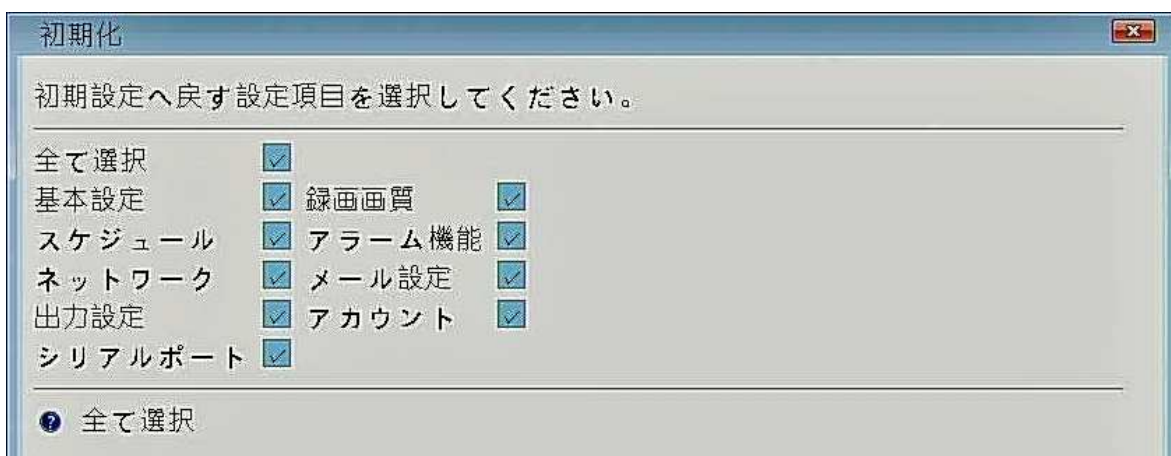
システムの自動起動	システムが定期的に再起動する曜日と時刻を設定 システムの自動起動を設定することにより、全ての設定とデータが メモリーから更新されるので、最適な状態になります。
ファイルの自動削除	設定した日数の以前の録画データを自動で消去(1～255 日)

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

12.初期化

設定の初期化(リセット)を行います。

初期化する項目にチェックを入れます。



The '初期化' (Initialization) dialog box has a title bar and a main area with the text '初期設定へ戻す設定項目を選択してください。' (Please select the settings items to return to the initial settings). Below this is a list of settings items, each with a checkbox: '全て選択' (Select all), '基本設定' (Basic settings), 'スケジュール' (Schedule), 'ネットワーク' (Network), '出力設定' (Output settings), and 'シリアルポート' (Serial port). To the right of these items are checkboxes for '録画画質' (Recording quality), 'アラーム機能' (Alarm function), 'メール設定' (Email settings), and 'アカウント' (Account). All checkboxes are currently checked. At the bottom is a button labeled '? 全て選択' (Select all).

「OK」をクリックすると、選択した項目が初期化されます。

13.アップグレード

本機のファームウェアの更新を行います。

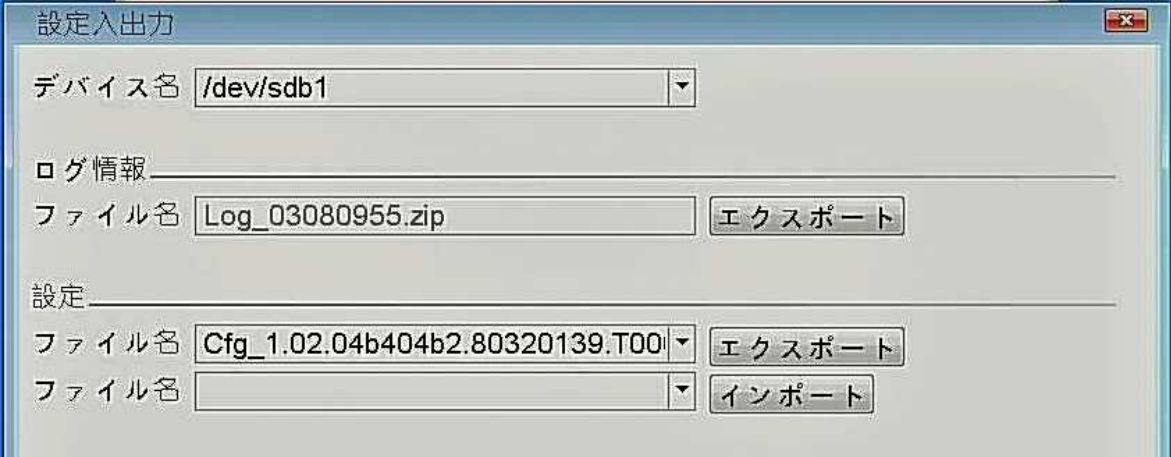


アップグレード場所	接続している USB メモリーを表示
アップグレードファイル名	USB メモリー内の更新用ファームウェアを選択

「アドバンス」をクリックすると、ファームウェアの更新を開始します。

14.設定入出力

ログ情報と本機のメニュー設定の内容を USB メモリーへ出力(エクスポート)、USB メモリーへ保存したメニュー設定の内容を本機の設定に一括コピー(インポート)します。



デバイス名	接続している USB メモリーを表示
ログ情報 ファイル名	USB メモリーへ保存するログ情報にファイル名を設定 「エクスポート」をクリックして、ログ情報を USB メモリーへ出力
設定 ファイル名	USB メモリーへ保存するメニュー設定にファイル名を設定 「エクスポート」をクリックして、メニュー設定を USB メモリーへ出力
設定 ファイル名	接続している USB メモリーから、コピーするメニュー設定を選択 「インポート」をクリックして、メニュー設定を本機の設定にコピー

操作が終わったら、「キャンセル」をクリックして戻ります。

<ネットワーク>



ネットワーク	遠隔監視についての設定
PPPoE	PPPoE を使用する場合の設定
Email 設定	アラーム発生時の E メール送信機能の設定
DDNS	ダイナミック DNS を使用する場合の設定
FTP 設定	アラーム発生時の画像を FTP サーバーへ伝送
UPNP	UPNP を使用する場合の設定
Wifi	※本機では使用できない機能です。
3G/4G	※本機では使用できない機能です。
RTSP	※基本的には設定を変更することはありません。 変更すると映像が表示できなくなる場合があります。
IP 権限設定	※本機では使用できない機能です。
Cloud Storage	※本機では使用できない機能です。

※本機の遠隔監視機能は、P2P 接続でスマートフォンまたは、タブレットを使用しますので、「PPPoE」「DDNS」「UPNP」の設定は必要ありません。

1.ネットワーク

遠隔監視についての設定を行います。

ネットワーク

接続方法: 有線 ☒ DHCP

IPアドレス: 192 . 168 . 1 . 19

サブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0

ゲートウェイ: 192 . 168 . 1 . 1

DNS1: 192 . 168 . 1 . 1

DNS2: 0 . 0 . 0 . 0

TCPポート: 34567 MTU: 1400

モバイルポート: 5800

HTTPポート: 80

高速転送設定: ☐

転送基本: 画質優先

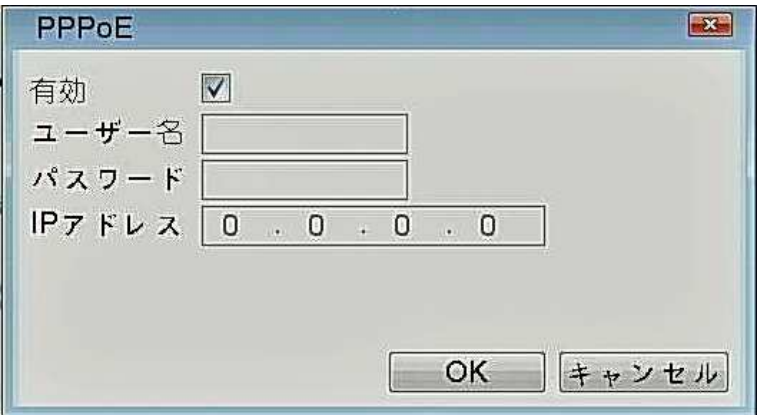
ネットワークのテスト

接続方法	ネットワークの接続方法(有線固定)
DHCP	IP アドレス/サブネットマスク/ゲートウェイ/DNS1/DNS2 を自動検出
IP アドレス	本機に割り当てるローカル IP アドレスを手動設定
サブネットマスク	サブネットマスクを手動入力
ゲートウェイ	ゲートウェイを手動入力(ルーターの IP アドレス)
DNS1	プロバイダー指定の DNS サーバーを手動入力
DNS2	プロバイダー指定の DNS サーバーを手動入力
TCP ポート	映像用のポートを設定 ※P2P 接続では設定不要です。
MTU	MTU 値を設定
モバイルポート	モバイルアクセス用のポートを設定 ※P2P 接続では設定不要です。
HTTP ポート	http アクセス時の Web ポートを設定 ※P2P 接続では設定不要です。
高速転送設定	高速伝送の設定
転送基本	転送時の優先項目を「最適化(自動)」「画質優先」「速度優先」より選択

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

2.PPPoE

PPPoE を使用する場合は設定を行います。



有効	PPPoE の有効/無効を設定
ユーザー名	PPPoE 接続用のユーザー名を入力
パスワード	PPPoE のパスワードを入力
IP アドレス	PPPoE の IP アドレスを入力

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

3.Email 設定

アラーム発生時に E メールを送信するための設定を行います。



有効	E メール送信機能の有効/無効を設定
SMTP サーバ	使用する SMTP サーバーを選択
ポート	SMTP サーバーのポートを入力
ユーザー名	E メール送信元の SMTP ユーザー名を入力
パスワード	E メール送信元の SMTP パスワードを入力
送信者	E メール送信元のメールアドレスを入力
受信者	E メール送信先のメールアドレスを入力
タイトル	送信される Eメールのタイトルを設定

設定終了後に「メールテスト」をクリックして、メール送信の確認をしてください。

4.DDNS

遠隔監視のアクセスに DDNS を使用する場合は設定を行います。

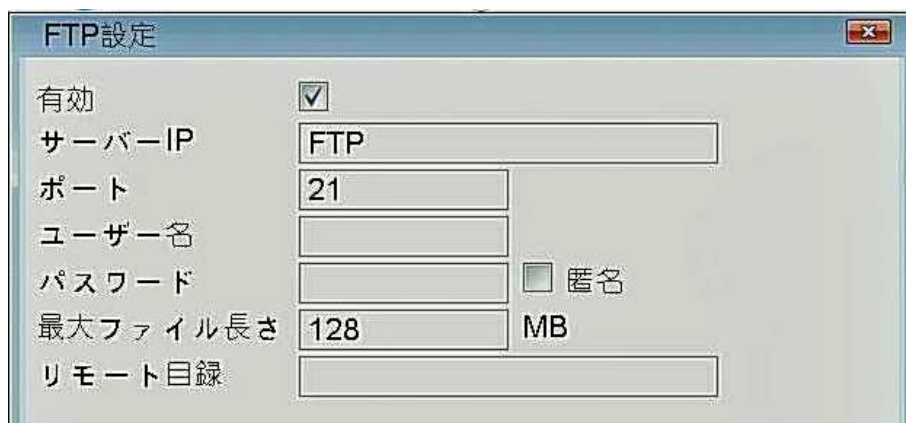


DDNS 種類	使用する DDNS を選択 ※事前の登録が必要です。
有効	DDNS の種類毎に DDNS 機能の有効/無効を設定
本機ドメイン名	登録時に割り当てられたドメイン名を入力
ユーザー名	登録時に割り当てられたユーザー名を入力
パスワード	登録時に割り当てられたパスワードを入力

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

5.FTP 設定

アラーム発生時の画像を FTP サーバーに伝送するための設定を行います。

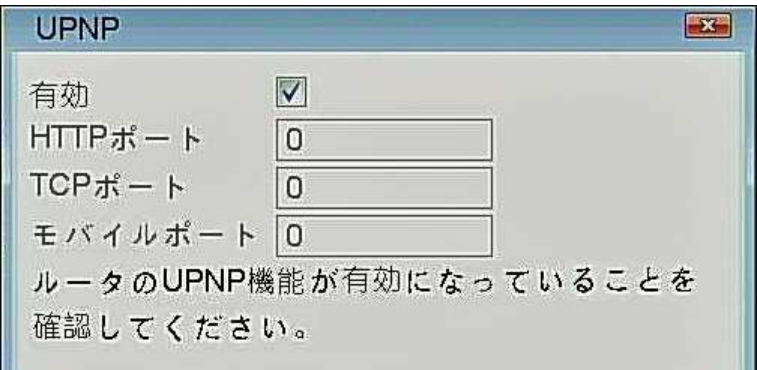


有効	FTP 伝送機能の有効/無効を設定
サーバーIP	FTP サーバーの IP アドレスまたは、ドメイン名を入力
ポート	FTP 伝送に使用するポートを設定 (通常は 21 を使用)
ユーザー名	FTP サーバーにアクセスするための ID を入力
パスワード	FTP サーバーにアクセスするためのパスワードを入力
匿名	匿名でログインする場合に設定
最大ファイル長さ	伝送するファイルの最大量を設定
リモート目録	dir コマンドを入力

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

6.UPNP

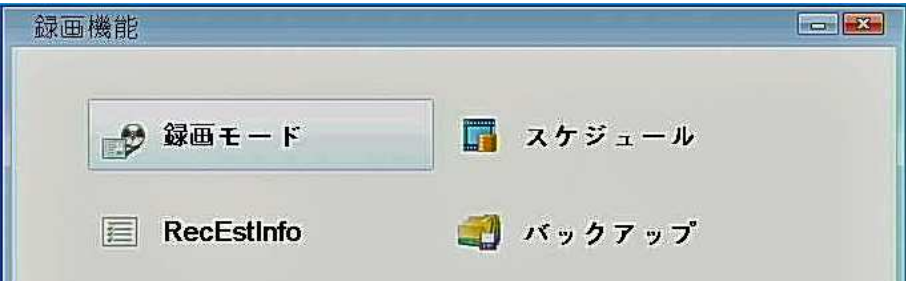
UPNP を使用する場合は設定を行います。



有効	UPNP 機能の有効/無効を設定
HTTP ポート	UPNP 機能を使用する場合の HTTP ポートを設定
TCP ポート	UPNP 機能を使用する場合の TCP ポートを設定
モバイルポート	UPNP 機能を使用する場合のモバイルポートを設定

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

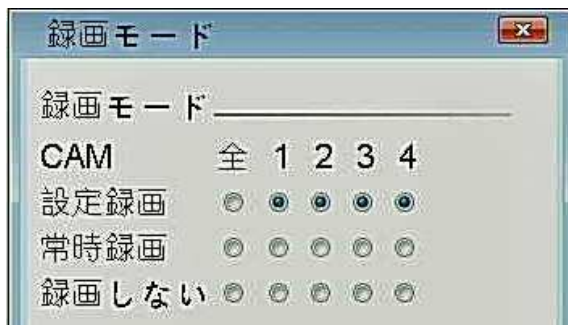
<録画機能>



録画モード	カメラ毎に録画モードを設定
スケジュール	カメラ毎の録画スケジュールを設定
RecEstinfo	録画可能時間の目安を確認
バックアップ	録画データのバックアップ

1.録画モード

カメラ毎に録画モードを設定します。



CAM	設定するカメラのチャンネルを 1～4 または「全」より選択
設定録画	選択したカメラをスケジュール録画
常時録画	選択したカメラを常時録画
録画しない	選択したカメラの録画停止

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

2.スケジュール

カメラ毎の録画スケジュールを設定します。



CAM	設定するカメラのチャンネルを 1～4 または「全(一括)」より選択
冗長化	※使用できない機能です。
録画単位	1 つの録画ファイルの長さを 1～120 分より設定
録画モード	録画モードを「設定録画(設定 1～4)」「常時録画」「設定しない」より選択
曜日	スケジュール録画を行う曜日を選択
設定 1～4	録画スケジュールを 4 つの時間帯で設定 「常時(連続録画)」または「検知(モーション録画)」を選択
デフォルト	設定を初期化
コピー	設定を他のチャンネルへコピー

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

3.RecEstinfo

設定している録画条件での録画時間の目安が確認できます。

RecEstInfo dialog box showing recording conditions and estimated time. The dialog has a table with columns: CAM, 編集, 転送単位 (Kb/S), Time, and 記録解像度. Below the table are buttons for Space and Time, and input fields for total capacity, time, and a disk change button.

<input checked="" type="checkbox"/>	CAM	編集	転送単位 (Kb/S)	Time	記録解像度
<input checked="" type="checkbox"/>	1	∠	1521	24	1080P
<input checked="" type="checkbox"/>	2	∠	3042	24	1080P
<input checked="" type="checkbox"/>	3	∠	3042	24	1080P
<input checked="" type="checkbox"/>	4	∠	3042	24	1080P

Space Time

総容量 0 TB = 0 GB

時刻 0 日

Note

CAM1～4	各チャンネルの状態を表示
Space	「ディスク変更」で内蔵ハードディスクを選択 現状の設定で録画可能な日数の目安を表示
Time	現状の設定で指定した日数に必要なハードディスクの容量の目安を表示

4.バックアップ

録画データを USB メモリーへバックアップします。

バックアップ dialog box showing backup settings and file list. The dialog has fields for device name, CAM, recording mode, start/end time, and backup format. Below are buttons for delete and search, and a table showing the backup files.

デバイス名 /dev/sdb1 29.80 GB/29.81 GB(空き容量/総容量)

CAM 1

再生選択 全録画

録画モード HDD

開始時間 2022-04-06 00:00:00

終了時間 2022-04-06 12:09:42

バックアップ形式 AVI

13	<input type="checkbox"/>	CAM	ファイル名	長さ
1	<input checked="" type="checkbox"/>	01	2022-04-06/00.00.00-01.00.00[H].h265	680.16 MB
2	<input checked="" type="checkbox"/>	01	2022-04-06/01.00.00-02.00.00[H].h265	679.93 MB

デバイス名	接続している USB メモリーの空き容量と総容量を表示
CAM	バックアップするカメラのチャンネルまたは、全カメラを選択
再生選択	バックアップする録画データの録画方式を選択
録画モード	HDD 固定
開始時間	バックアップする録画データの開始時間を指定
終了時間	バックアップする録画データの終了時間を指定
バックアップ形式	録画データの保存方式を選択 ※AVI 推奨
消去	表示された録画データを選択して、バックアップリストから消去
検索	指定した時間内の録画データを検索してリストに表示
同期書込み	※本機では使用できない機能です。

バックアップする録画データにチェックを入れて「コピー」をクリックすると、バックアップを開始します。

<アラーム>



モーション設定	画面に動きがあった場合のアラーム設定
映像遮蔽	カメラの映像が遮蔽された場合のアラーム設定
信号ロス	カメラの映像信号が途絶えた場合のアラーム設定
異常表示	ハードディスクに異常が発生した場合のアラーム設定
AI 分析	※本機では使用できない機能です。
AI アラーム	※本機では使用できない機能です。

1. モーション設定

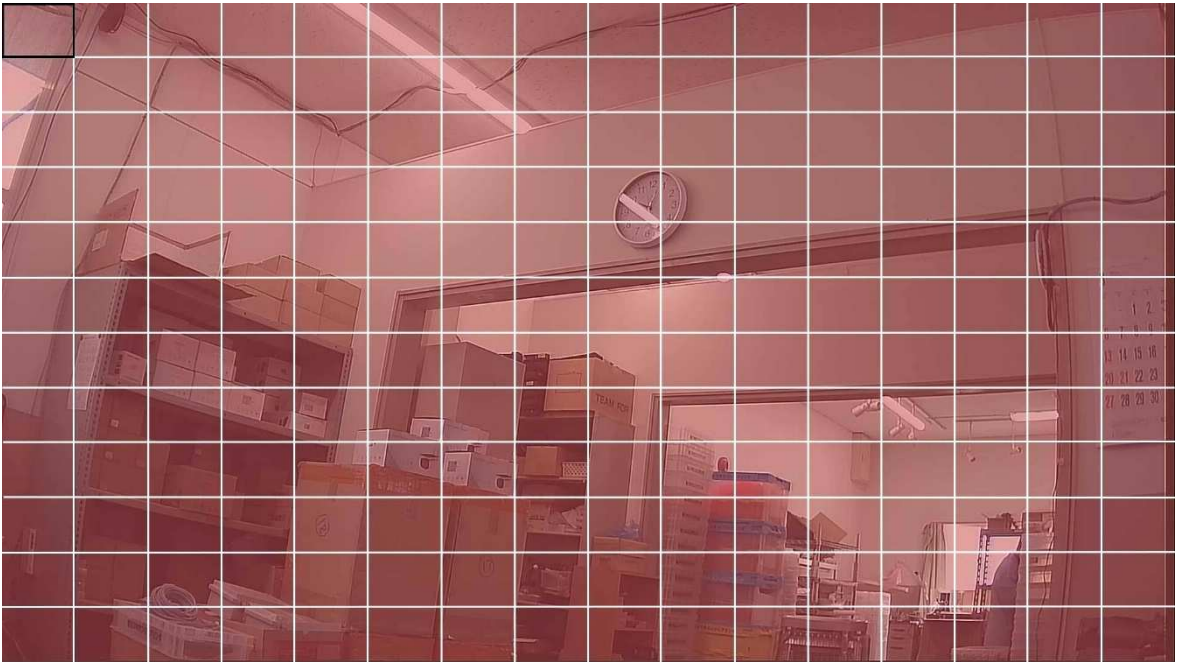
映像画面に動きがあった場合のアラーム動作設定を行います。

CAM	設定するカメラのチャンネルまたは、全カメラを選択
有効	モーションアラーム機能の有効/無効を設定
感度	映像内の動きを検知する感度を 1(弱)～6(強)より設定
エリア設定	映像内の動きを検知する領域を設定
時間帯	月曜から日曜まで任意の 4 通りの録画スケジュールを設定
時間間隔	映像内の動きを検知する間隔を 1～600 秒より設定
録画カメラ	映像内の動きを検知したときに録画をするカメラを設定
画面ループ設定	映像内の動きを検知したときに 1 画面表示にするカメラを選択 複数のカメラを選択した場合は、選択したカメラが自動で切り替わります。
PTZ 連動	※本機では使用しない機能です。
録画時間	映像内の動きを検知した後の録画時間を 10～300 秒より設定
メッセージ表示	映像内の動きを検知したときにモニター画面にメッセージを表示
EMAIL 送信	映像内の動きを検知したときに指定のメールアドレスへメール送信
内蔵ブザー	映像内の動きを検知したときに内蔵のブザーが鳴動
FTP アップロード	映像内の動きを検知したときに FTP サーバーに画像を伝送
デフォルト	設定を初期化
コピー	設定を他のチャンネルへコピー

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

■エリア設定■

モーション検知の領域を設定します。



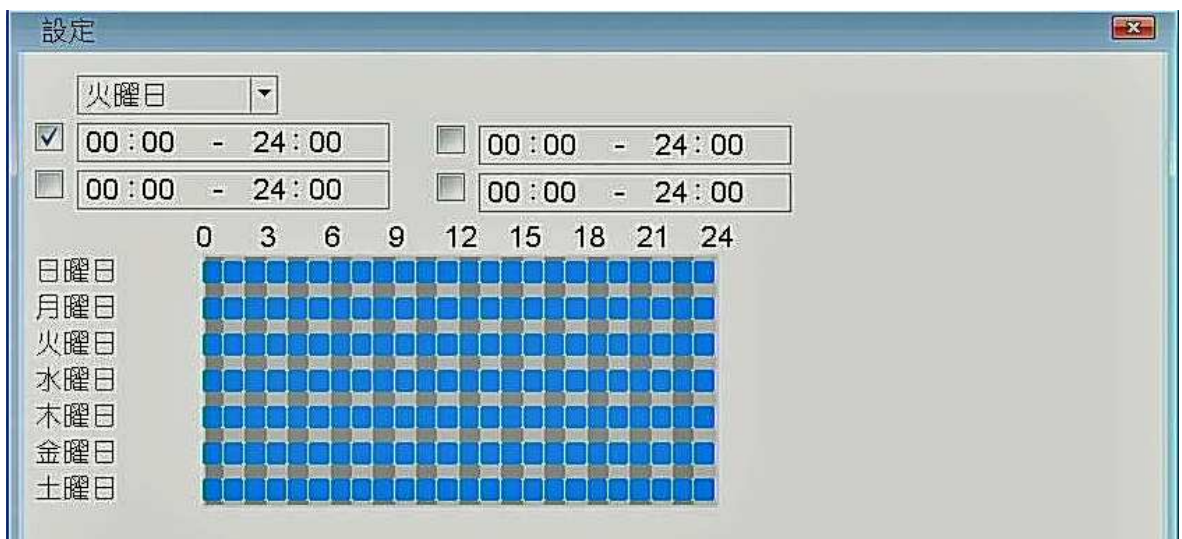
ピンク色の範囲がモーション検知の設定をしている領域になります。

設定範囲にマウスポインターを移動させ、上をクリックすると設定が変更されます。

設定が終わったら、マウスの右クリックで戻ります。

■時間帯■

モーション検知が動作する時間帯を設定します。



曜日毎または、毎日を選択して、モーション検知録画が動作する時間を設定します。

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

2.映像遮蔽

カメラの映像が遮蔽された場合のアラーム設定を行います。

CAM	設定するカメラのチャンネルまたは、全カメラを選択
有効	映像遮蔽アラーム機能の有効/無効を設定
感度	映像遮蔽の反応感度を 1(弱)～6(強)より設定
時間帯	月曜から日曜まで任意の 4 通りのスケジュールを設定
録画カメラ	映像が遮蔽されたときに録画をするカメラを設定
画面ループ設定	映像が遮蔽されたときに 1 画面表示にするカメラを選択 複数のカメラを選択した場合は、選択したカメラが自動で切り替わります。
PTZ 連動	※本機では使用しない機能です。
録画時間	映像が遮蔽されたときの録画時間を 10～300 秒より設定
メッセージ表示	映像が遮蔽されたときにモニター画面にメッセージを表示
EMAIL 送信	映像が遮蔽されたときに指定のメールアドレスへメール送信
内蔵ブザー	映像が遮蔽されたときに内蔵のブザーが鳴動
FTP アップロード	映像が遮蔽されたときに FTP サーバーに画像を伝送
デフォルト	設定を初期化
コピー	設定を他のチャンネルへコピー

「時間帯」の設定については、38 ページをご確認ください。

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

3.信号ロス

カメラの映像信号が途絶えた場合のアラーム設定を行います。

CAM	設定するカメラのチャンネルまたは、全カメラを選択
有効	信号ロスアラーム機能の有効/無効を設定
時間帯	月曜から日曜まで任意の 4 通りのスケジュールを設定
録画カメラ	映像信号が途絶えたときに録画をするカメラを設定
画面ループ設定	映像信号が途絶えたときに 1 画面表示にするカメラを選択 複数のカメラを選択した場合は、選択したカメラが自動で切り替わります。
PTZ 連動	※本機では使用しない機能です。
録画時間	映像信号が途絶えたときの録画時間を 10～300 秒より設定
メッセージ表示	映像信号が途絶えたときにモニター画面にメッセージを表示
EMAIL 送信	に映像信号が途絶えたときに指定のメールアドレスへメール送信
内蔵ブザー	映像信号が途絶えたときに内蔵のブザーが鳴動
FTP アップロード	映像信号が途絶えたときに FTP サーバーに画像を伝送
デフォルト	設定を初期化
コピー	設定を他のチャンネルへコピー

「時間帯」の設定については、38 ページをご確認ください。

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

4.異常表示

ハードディスクに異常が発生した場合のアラーム設定を行います。



異常表示

イベントタイプ ハードディスク ▾

有効 ☒

メッセージ表示 ☐

内蔵ブザー ☐

イベントタイプ	通知する異常内容を選択 「ハードディスク無し」「ハードディスクエラー」「ハードディスク容量不足」「ネットワーク切断」「IP 重複」
有効	異常表示機能の有効/無効を設定
メッセージ表示	ハードディスクに異常が発生したときにモニター画面にメッセージを表示
内蔵ブザー	ハードディスクに異常が発生したときに内蔵のブザーが鳴動

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

◇基本操作◇

1.録画

録画を開始する前にメニュー設定の「録画画質」「スケジュール」を設定してください。

録画には、常時録画と設定録画の2つのモードがあります。

①常時録画

スケジュールやモーション検知に関係なく、連続で録画をするモードです。

「スケジュール」設定画面または、「録画モード」画面で「常時録画」を選択してください。

(34 ページ参照)

録画を開始すると、画面左下に録画中のアイコンが表示されます。

②設定録画 — スケジュール録画

曜日毎に4通りの録画スケジュールを設定して、設定時間内を連続で録画するモードです。

「スケジュール」設定画面で録画モードを「設定録画」に設定してください。(34 ページ参照)

次に「設定1」～「設定4」で録画する時間帯を設定して、「常時」を選択します。

録画を開始すると、画面左下に録画中のアイコンが表示されます。

スケジュール録画を停止させる場合は、「スケジュール」設定画面または、「録画モード」画面で「録画しない」を選択してください。

③設定録画 — モーション検知録画

モーション検知録画は、画面上に動きがあったときにだけ録画をするモードです。



動きを検知してから10～300秒の間で設定した時間だけ録画した後に録画を停止して待機状態になります。動きを検知し続けている場合は、検知反応が無くなるまで連続で録画をします。

「スケジュール」設定画面で録画モードを「設定録画」に設定してください。(34 ページ参照)

次に「設定1」～「設定4」で録画する時間帯を設定して、「検知」を選択します。

また、「モーション設定」画面で、モーション設定を「有効」にして各項目を設定してください。

設定が保存されると、自動的にモーション検知録画待機状態になります。(37 ページ参照)

動きを検知すると録画が開始され、動きを検知したチャンネルの画面左下に検知アイコンと録画中のアイコンが表示されます。

※録画を短時間で停止させた場合は、録画データとして保存されない場合があります。

※録画中に停電などで電源がオフになった場合は、再び電源が入ると元の録画状態に戻ります。

但し、シャットダウン操作を行わずに電源を切ったこととなりますので、ハードディスクのトラブルを避けるため、ハードディスクのフォーマット(初期化)をすることをお勧めします。

2.録画データの再生

メニュー画面、クイックメニューまたは、マウスの右クリックから「録画再生」をクリックすると録画再生画面が表示されます。



①録画データを再生するデバイスを「HDD」または「バックアップデバイス」より選択します。

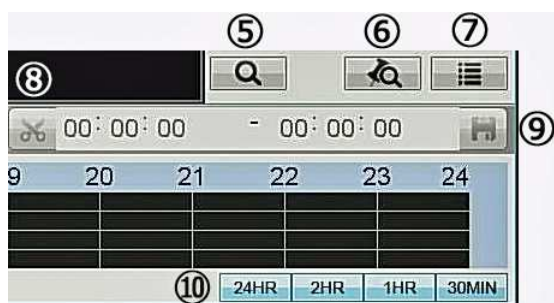
②再生方法を「ビデオ」または「Splice」より選択します。

Splice : 1つのチャンネルを15分おきに4画面で再生するモードです。

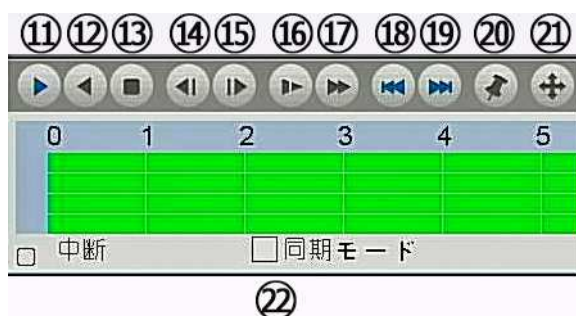
③録画データを再生する日付をカレンダーより選択します。

録画データのある日付が黄色で表示されています。

④録画データを再生するカメラのチャンネルを選択します。



- ⑤ 選択したカメラの録画データを検索します。
- ⑥ 録画データ内のタグを検索します。
- ⑦ 選択した日付の録画ファイルを一覧で表示します。(ファイルをダブルクリックで再生)
- ⑧ 録画データを切り取ってバックアップを行う場合の開始時刻と終了時刻を指定します。
- ⑨ 指定した範囲または、録画ファイル一覧からファイルを選択してバックアップを開始します。
- ⑩ タイムバーの時間表示を 24 時間/2 時間/1 時間/30 分より選択します。



- ⑪ 再生の開始と一時停止
- ⑫ 逆再生
- ⑬ 再生の停止
- ⑭ 一時停止中に 1 フレームずつ逆再生
- ⑮ 一時停止中に 1 フレームずつ再生
- ⑯ スロー再生(1/2 倍速 1/4 倍速 1/8 倍速 1/16 倍速)
- ⑰ 高速再生(2 倍速 4 倍速 8 倍速 16 倍速)
- ⑱ 1 つ前の録画ファイルを再生(1 時間毎)
- ⑲ 1 つ後の録画ファイルを再生(1 時間毎)
- ⑳ タグを作成
- ㉑ 再生画面を全画面表示
- ㉒ 同じ録画モードで録画したデータを同期させて再生
 - 「常時」：設定録画－スケジュール録画
 - 「警報」：設定録画－モーション検知録画
 - 「マニュアル」：常時録画
 - 「インテリジェント」：※未対応

3.録画データのバックアップ

USB ポートを使用して、録画データを USB メモリーに保存します。

前面または、背面の USB ポートに USB メモリーを接続してください。

録画機能画面または、クイックメニューの「バックアップ」をクリックします。

デバイス名	接続している USB メモリーの空き容量と総容量を表示
CAM	バックアップするカメラのチャンネルまたは、全カメラを選択
再生選択	バックアップする録画データの録画方式を選択
録画モード	HDD 固定
開始時間	バックアップする録画データの開始時間を指定
終了時間	バックアップする録画データの終了時間を指定
バックアップ形式	録画データの保存方式を「AVI」で選択
消去	表示された録画データを選択して、バックアップリストから消去
検索	指定した時間内の録画データを検索してリストに表示
同期書込み	※本機では使用できない機能です。

バックアップする録画データにチェックを入れて「コピー」をクリックすると、バックアップを開始します。

※USB メモリーは、ご使用前にパソコンにてフォーマットしてください。

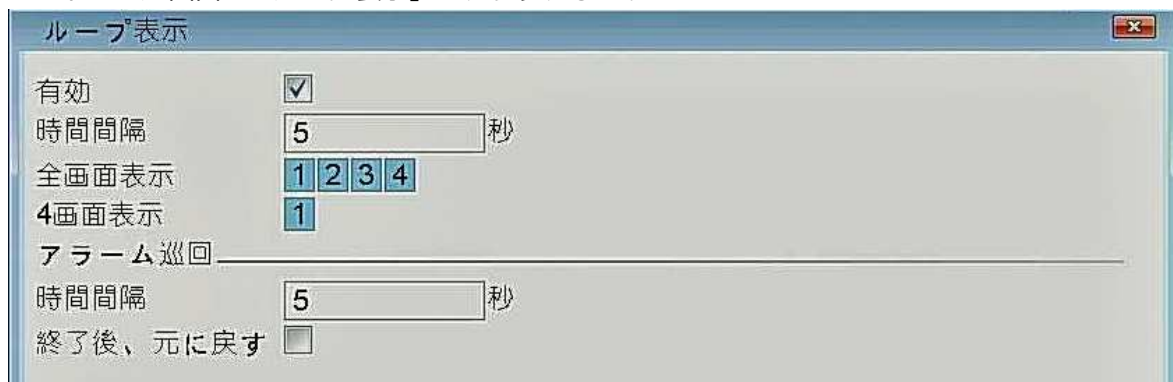
※バックアップ中は、USB メモリーを取り外さないでください。

パソコンでのバックアップデータの再生には、「Windows Media Player」「VLC Media Player」「PotPlayer」などの動画ソフトをご使用ください。

4.ループ表示(画面自動切換え機能)

各カメラのチャンネルを 1 画面で自動的に切り替える機能です。

コントロール画面の「ループ表示」をクリックします。



有効	ループ表示の有効/無効を設定
時間間隔	カメラの画面を切り替える時間の間隔を 5～120 秒より設定
全画面表示	1 画面表示で切り替えを行うチャンネルを選択
4 画面表示	4 分割画面をループ表示させる場合に選択
アラーム巡回時間間隔	アラーム発生時の画面切り替えの時間間隔を 5～120 秒より設定
終了後元に戻す	アラーム発生時の画面切り替え動作終了後にライブ画面に戻る設定

「OK」をクリックすると、設定した内容が保存されます。

設定が有効になると、設定した時間間隔で画面の自動切替えを開始します。

自動切替えを停止させる場合は、「ループ表示」設定画面で「有効」のチェックを外します。

5.デジタルズーム

デジタルズームは、画面の一部を切り取って拡大する機能です。

ライブ画面の場合は、各チャンネルの画面上部に表示されるズームアイコンをクリックします。

拡大する部分をマウスでクリックしたままスライドさせて範囲を指定します。



ズームアイコン

指定したピンク色の範囲内をクリックすると、指定した範囲が拡大して表示されます。

元の画面に戻る場合は、マウスをダブルクリックします。

6.音声機能

モニターへの音声出力を有効にする場合は、各チャンネル画面の上部にマウスポインターを移動させて表示する音声アイコンをクリックします。



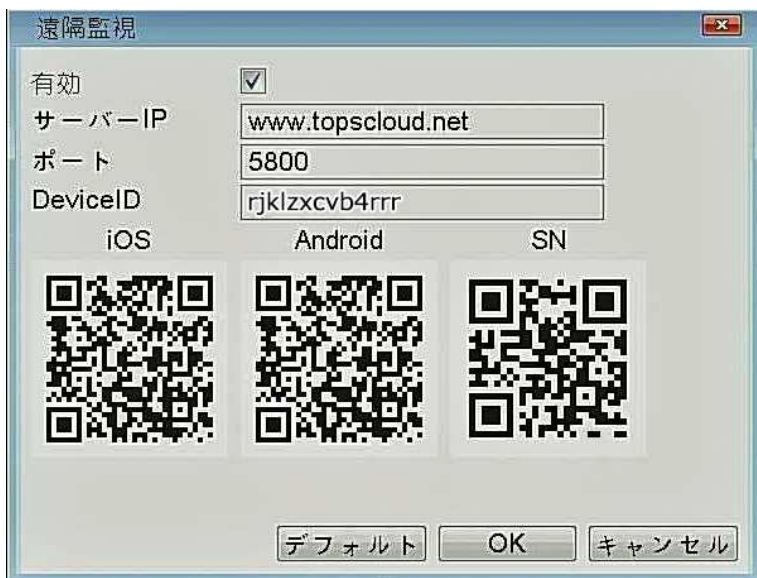
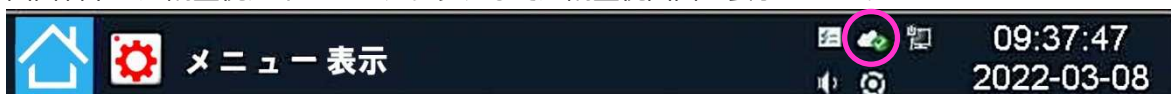
音声出力を無効にする場合は、再度音声アイコンをクリックします。

※マイク内蔵カメラ「TSD-RV200POE」接続時のみ

10.遠隔監視

インターネットと接続して、遠隔地のスマートフォンからライブ映像の確認と録画データの再生が可能です。

画面右下の遠隔監視アイコンをクリックして遠隔監視画面を表示させます。



iOS または、Android の QR コードをスマートフォンで読み取り、専用アプリ「XVR View」をダウンロードして、インストールします。

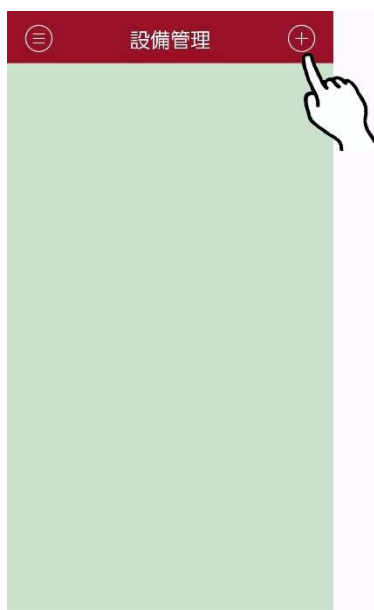
※iOS と Android では、画面のデザインや表現、使用できる機能などが異なります。

アプリを起動して、「ローカルログイン」をタップします。



デバイス画面が表示されますので、画面左上のメニューアイコンをタップします。

メニューが表示されますので、「設備管理」をタップします。



設備管理画面が表示されますので、画面右上のプラスアイコンをタップします。

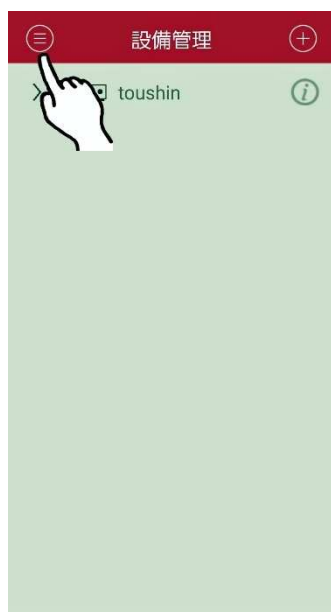
デバイス追加画面が表示されますので、必要項目を入力します。

The screenshot shows the 'デバイスを追加' (Add Device) screen. It has a red header with a back arrow, the title 'デバイスを追加', and a search icon. Below the header, there are several input fields and a button. Numbered callouts are placed to the left of the screen:

- ① points to the 'お名前:' (Name) field containing 'Device 01'.
- ② points to the 'シリアル番号' (Serial Number) tab, which is selected over the 'IP/ドメイン名' (IP/Domain Name) tab.
- ③ points to the 'シリアル番号:' field, which contains a QR code.
- ④ points to the 'ユーザー名:' (Username) field containing 'admin'.
- ⑤ points to the 'パスワード:' (Password) field.
- ⑥ points to a row of buttons for selecting the number of channels to display: 1, 4, 8, 16, 24, 32. The '4' button is highlighted.
- ⑦ points to the 'デバイスを追加' (Add Device) button at the bottom.

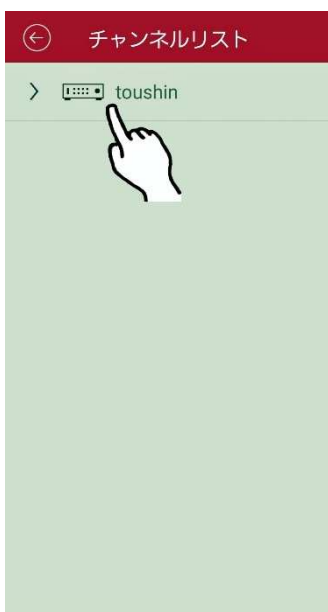
- ①任意の名前を設定
- ②シリアル番号を選択
- ③遠隔監視画面に表示されている「DeviceID」を入力
※遠隔監視画面の QR コード SN から読み取り可能
- ④ユーザー名を入力 ※初期設定「admin」
- ⑤本機に設定したパスワードを入力 ※初期設定は未設定
- ⑥表示させるチャンネル数「4」を選択
- ⑦タップして設定を保存

装置管理画面に登録したデバイスが表示されていることを確認して、画面左上のメニューアイコンをタップします。



メニューが表示されますので、「リアルタイム監視」をタップします。

リアルタイム監視画面(ライブプレビュー)が表示されますので、「+」アイコンをタップします。



チャンネルリストから、登録したデバイスをタップします。








チャンネルリストが表示されますので、接続しているカメラ全ての✓マークをタップします。



✓マークが赤色に変わったら、「プレビューを開始」をタップします。

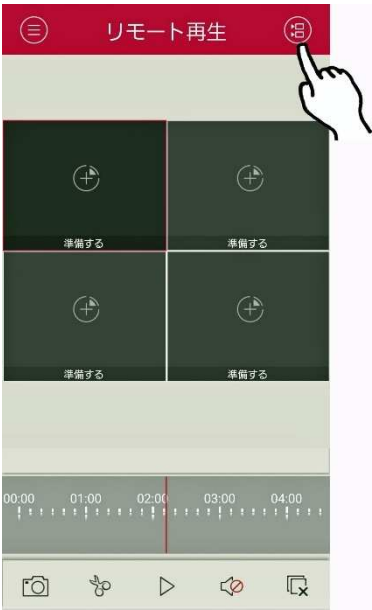
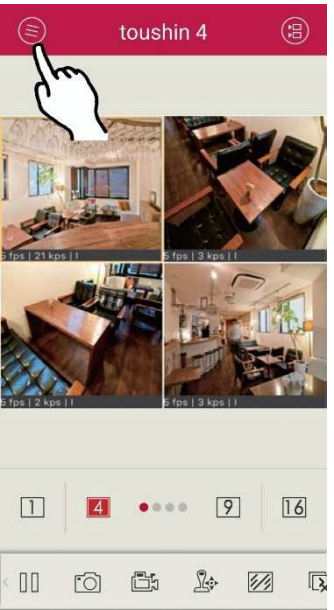
ライブ映像が画面に表示されます。



	メニューを表示
	チャンネルリスト画面を表示
	選択しているチャンネルの ON/OFF
	ライブ映像を静止画でアプリのファイルに保存
	ライブ映像を動画でアプリのファイルに保存
	画像切り替え SD:標準画質/HD:高画質
	全てのチャンネルを停止

※上記以外のアイコン機能は、本機では使用できません。

録画データを再生させる場合は、メニューの「リモート再生」をタップします。

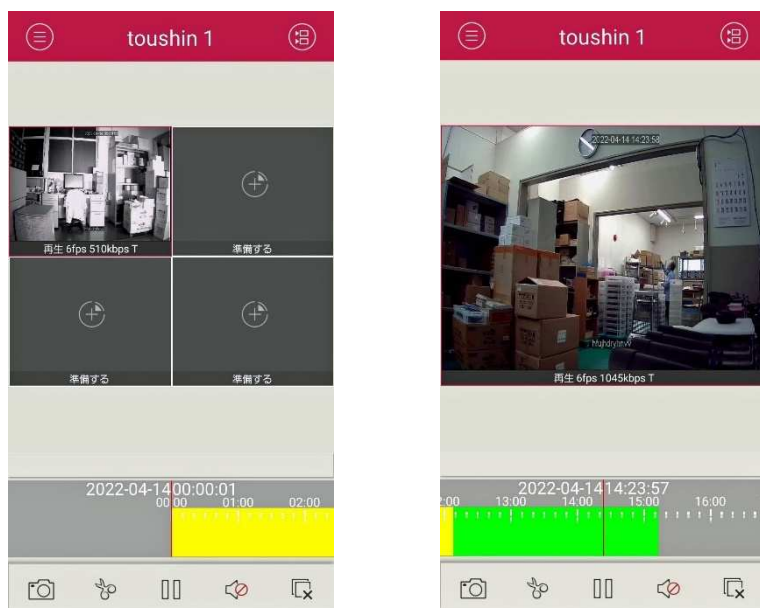


リモート再生画面が表示されますので、画面右上のチャンネルリストアイコンをタップします。






チャンネルリスト画面で、録画データを再生させる開始時間と終了時間を入力します。
次にデバイスから再生させるカメラのチャンネルを選択します。




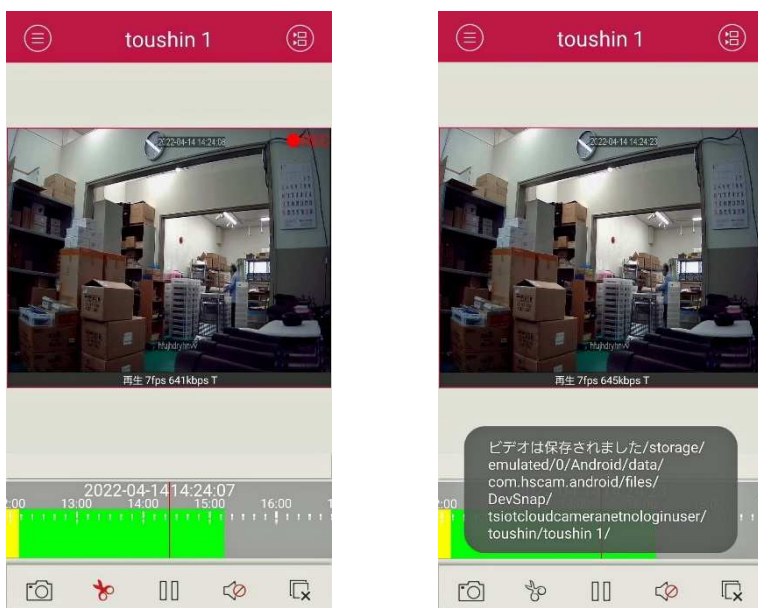
「再生開始」をタップすると、選択したチャンネルの録画データの再生を開始します。



再生中のチャンネルをダブルタップすると、1 画面表示になります。

	再生映像を静止画でアプリのファイルに保存
	再生映像を切り取ってアプリのファイルに動画保存
	選択しているチャンネルの再生と一時停止
	選択しているチャンネルの音声の ON/OFF
	全てのチャンネルを停止

再生映像の必要な部分を切り取って保存する場合は、アイコンをタップします。
「REC」マークが表示され、保存を開始します。



再度アイコンをタップすると、保存を終了します。



リアルタイム監視/ライブプレビュー	ライブ画面を表示
リモート再生/再生	再生画面を表示
設備管理/デバイスマネージャ	デバイス管理画面を表示
ニュースセンター/メッセージ一覧	※使用できない機能です。
メディア管理/ファイル	保存データ管理画面を表示
パスワード回復/スーパーパスワード	※使用できない機能です。
もっと	トラフィック画面を表示 ※オプションの設定は変更しないでください。

11.録画時間の目安

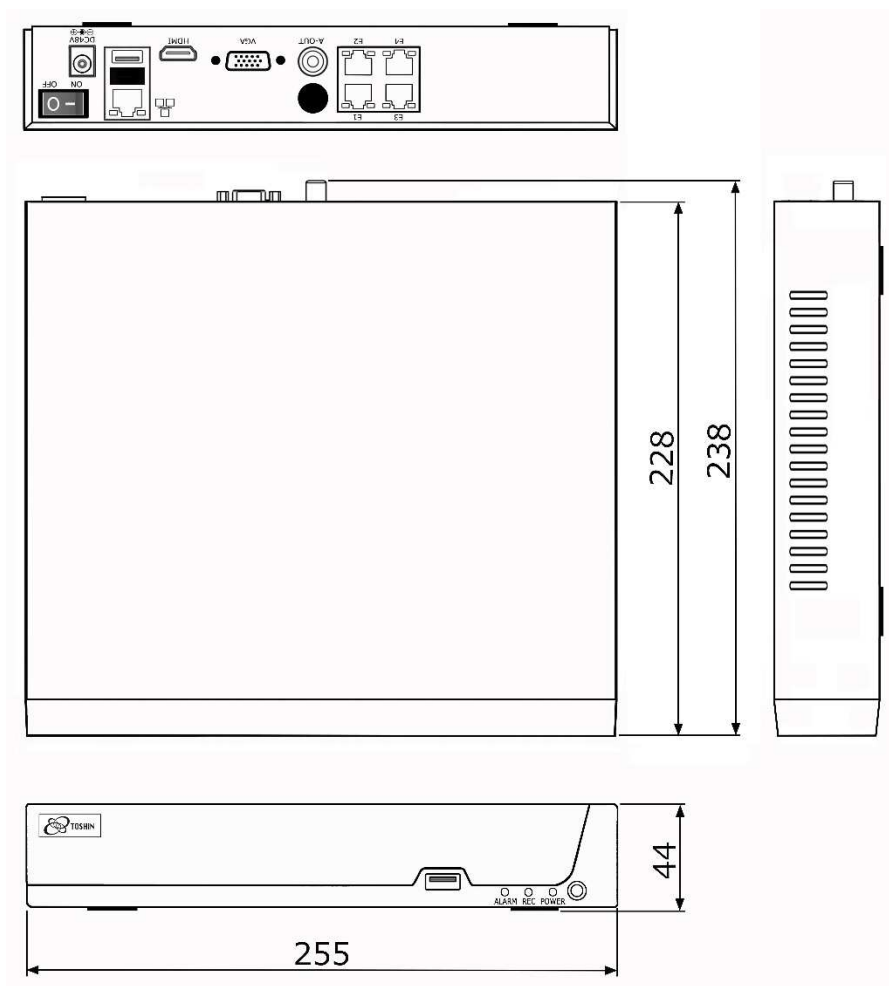
カメラ 1 台の場合

録画解像度	フレームレート	画質 6	画質 5	画質 4	画質 3	画質 2	画質 1
1080P (1920×1080)	18fps	70	108	122	154	230	433
	15fps	84	130	145	185	277	520
	10fps	126	195	220	277	415	780
	5fps	252	390	441	555	831	1560

単位：日

※目安表の録画時間は計算上のものですので、あくまでも目安とお考えください。

12.寸法図



単位：mm

13.製品仕様

映像入力		4 チャンネル BNC.J
映像出力	HDMI	最大 1920×1080
	VGA	最大 1920×1080
音 声	出力端子	1 チャンネル RCA.J
録 画	映像圧縮方式	H.265/H.264
	解像度	1080P/720P/960H/D1/VGA
	フレームレート	1～30fps(1080P 最大 18fps)
	画質	6 段階
	モード	連続録画/スケジュール録画/モーション録画
	プリレコード	1～5 秒
	ポストレコード	10～300 秒
画面表示	画面モード	1 画面/4 分割
	オートシーケンス	5～120 秒
	デジタルズーム	エリア選択(mouse dragging)
再 生	再生速度	2～16 倍速(高速再生) 1/2～1/16 倍速(スロー再生)
	同時再生	最大 4 チャンネル
バックアップ	ファイルフォーマット	AVI
	メディアインターフェイス	USB2.0(フラッシュメモリー)
表示言語		26 ヶ国語対応
ネットワーク	プロトコル	TCP/DHCP/DDNS/NTP/SMTP/FTP/DNS/UPNP/PPPoE/P2P
	専用アプリケーション	XVR View
内蔵ハードディスク		SATA 2TB×1
時計精度		月差±60 秒以内(NTP 対応)
電源		DC48V (センタープラス)
消費電力		最大約 50W (カメラ 4 台接続時)
使用動作温湿度範囲		0～40℃/20～80%
本体寸法		255(W)×44(H)×238(D)mm
重量		約 1380g
付属品		AC アダプター/HDMI ケーブル/マウス

14.トラブルシューティング

問 題	考えられる対処方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源アダプターが正しく接続されていることを確認してください。 ・電源アダプターの故障が考えられます。
カメラの映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラが正しく接続されているか確認してください。 ・カメラの配線に損傷がないか確認してください。 ・カメラの電源が入っているか確認してください。
録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・「録画」の設定を確認してください。(33～34 ページ) ・ハードディスクの録画データがいっぱいになっていませんか？(14 ページ) ・電源を入れ直してハードディスクの初期化をしてください。(24 ページ)
スケジュール録画が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻は正確に設定されていますか？(18 ページ) ・「スケジュール設定」の見直しをしてください。(34 ページ)
モーション録画が動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ・「モーション検出」設定を確認してください。(37 ページ)
再生ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・録画データはありますか？ ・電源を入れ直してください。
画像がぼやける	<ul style="list-style-type: none"> ・焦点調整などのカメラの状態を確認してください。
時計が正確でない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源を切ってから長期間経過していませんか？ ・タイムゾーンの設定を確認してください。

※解決しない場合は、電源を切り、しばらくしてから電源を再投入して、再度症状を確認してください。

全ての設定を工場出荷時に初期化して、再度症状を確認してください。(27 ページ参照)
問題が解消できない場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

15.修理について

- ・不具合の原因が、一時的な誤作動や設定によるもので、物理的な異常が無い場合があります。修理のご依頼の前に、電源の再起動、設定の初期化、ハードディスクのフォーマットをお試しください。
- ・修理をご依頼になる場合は、事前に必要な録画データのバックアップや設定のエクスポートを行ってください。点検や修理において、データの初期化が必要になり、データを消失してしまう場合があります。録画データの復元やコピーはできませんのでご了承ください。
- ・現場への出張修理は行っておりません。保証期間内外を問わず、修理対応はセンドバックとさせていただきます。
- ・破損などの状態により、修理ができない場合があります。
- ・部品保有期間切れのため、修理ができない場合があります。
- ・修理のご依頼につきましては、ご購入頂きました販売店へご相談ください。

免責事項

- 本製品は、防犯を保証する機器ではありません。製品の動作の正常・異常に関わらず、犯罪や事故が発生した場合の損害について、当社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 製品の設置(取り付け、取り外し)などによって生じた建物などへの損傷や、その他の損傷について、当社は一切の責任を負いません。
- 火災・水害・地震・落雷などの天災地変及び公害・塩害・ガス害・異常電圧・指定外の使用電源などによる損傷について、当社は一切の責任を負いません。
- 製品の使用または、使用不能から生じる付随的な損害(利益の損失・事業の中断・記録内容の消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。

販売元



東進電機工業株式会社

〒389-0505 長野県東御市和 1106-4

TEL:0268(75)7708 FAX:0268(75)8226

2022 年 4 月作成